
平成29年

兵庫医療大学 研究業績

1. 薬学部	1
2. 看護学部	10
3. リハビリテーション学部	16
4. 共通教育センター	30
5. 馬場明道学長	34
6. 補遺	35

薬学部

著書・論文

田中稔之

田中稔之. がんと戦う免疫学 (キャンパス通信 ポーアイ 4 大学連携講座). 毎日新聞 平成29年6月20日朝刊, 2017.

大野喜也, 田中稔之. 1 章 免疫細胞の種類と分化. 免疫ペディア—101のイラストで免疫学・臨床免疫学に強くなる!. 羊土社, 2017, 44-82.

田中稔之. 2 リンパ組織・リンパ器官. 免疫学コア講義. 改訂4版, 南山堂, 2017, 7-12.

天野学

天野学. 簡易懸濁法マニュアル. 2017.

村上雅裕, 中谷真由美, 太田千裕, 安田恵, 天野学. 抗アレルギー点眼薬におけるスイッチOTC医薬品と医療用医薬品との製剤学的特性および経済性に関する比較検討. 医療薬学, 2017, 43 (10), 592-598.

村上雅裕, 田中里佳, 安田恵, 天野学. チェーン薬局に勤務する薬剤師を対象とした認知症に対する政策・事業の認知度に関するアンケート調査. 社会薬学, 2017, 36 (2), 118-125.

村上雅裕, 木下紗江, 上野楓, 安田恵, 天野学. 口腔内崩壊フィルム製剤の簡易懸濁法適応可否に関する検討. 日本地域薬局薬学会誌, 2017, 5 (2), 45-52.

九川文彦

Takeuchi N, Nonen S, Kato M, Wakeno M, Takekita Y, Kinoshita T, Kugawa F. Therapeutic Response to Paroxetine in Major Depressive Disorder Predicted by DNA Methylation. Neuropsychobiology, 2017, 75, 81-88.

戴毅

Nakao S, Mabuchi M, Wang S, Kogure Y, Shimizu T, Noguchi K, Tanaka A, Dai Y. Synthesis of resveratrol derivatives as new analgesic drugs through desensitization of the TRPA1 receptor. Bioorganic & medicinal chemistry letters, 2017, 27 (14), 3167-3172.

山本悟史, 戴毅. 【生薬薬理と漢方】呉茱萸の主成分エボジアミンによる鎮痛メカニズム. 漢方と最新治療, 2017, 26 (4), 293-296.

前田拓也

前田美紀子, 前田拓也. 続・楽しい栄養学 その① 食品の機能と機能性成分. 食生活研究誌, 2017, 37 (2), 101-106.

前田美紀子, 前田拓也. 続・楽しい栄養学 その② 食物繊維の基礎知識. 食生活研究誌, 2017, 37 (3), 174-181.

前田美紀子, 前田拓也. 続・楽しい栄養学 その③ ポリフェノール類の基礎知識. 食生活研究誌, 2017, 37 (4), 224-232.

前田美紀子, 前田拓也. 続・楽しい栄養学 その④ カロテノイドの基礎知識. 食生活研究誌, 2017, 37 (5), 281-288.

前田美紀子, 前田拓也. 続・楽しい栄養学 その⑤ ビタミン様化合物の基礎知識. 食生活研究誌, 2017, 37 (6), 329-337.

前田美紀子, 前田拓也. 続・楽しい栄養学 その⑥ その他の機能性成分の基礎知識. 食生活研究誌, 2017, 38 (1), 15-21.

宮部豪人

Miyabe H, Kawashima A, Yoshioka E, Kohtani S. Progress in Enantioselective Radical Cyclizations. Chem Eur J, 2017, 23 (26), 6225-6236.

Miyabe H. Unique Strategies for Controlling Enantioselective Stereochemistry of Cyclizations via a Radical Intermediates. Eur J Org Chem, 2017, 2017 (23), 3302-3310.

Yoshioka E, Kohtani S, Hashimoto T, Takebe T, Miyabe H. Photo-Induced Atom-Transfer Radical Reactions Using Charge-Transfer Complex between Iodine and Tertiary Amine. Chem Pharm Bull, 2017, 65 (1), 33-35.

Yoshioka E, Imoto Y, Yoshikawa T, Kohtani S, Miyabe H. FeCl₃-Promoted Oxidative Radical Cyclization for the Synthesis of Lactams Having A Quaternary Carbon. Synlett, 2017, 28 (7), 863-867.

Yoshioka E, Miyabe H. Oxidative Radical

Cyclization-Cyclization Reaction Leading to 1H-Benzo[f]isoindole Derivatives. *Molbank*, 2017, 2017 (1), M929 (1-7).

Yoshioka E, Goto Y, Minato I, Miyabe H. Aqueous-Medium Selective Modification of Cysteine and Related Thiols with Tricyclic Oxygen-Heterocycles. *Synthesis*, 2017, 49 (21), 4887-4892.

Kohtani S, Kawashima A, Miyabe H. Reactivity of Trapped and Accumulated Electrons in Titanium Dioxide Photocatalysis. *Catalysis*, 2017, 7 (10), 303/1-303/16.

森山雅弘

辻井聡容, 大垣孝文, 中永かおり, 今井清隆, 木瀬大輔, 一幡結, 霜倉智子, 土肥由香里, 松原一磨, 多田章二, 森山雅弘. 進行・再発の結腸・直腸がんに対するトリフルリジン・チピラシル塩酸塩配合錠の血液毒性におよぼす初回投与前腎機能の影響. *日本病院薬剤師会雑誌*, 2017, 53 (8), 981-985.

山本悟史

王勝蘭, 小林希実子, 小暮洋子, 山中博樹, 山本悟史, 八木秀司, 野口光一, 戴毅. 一次知覚神経におけるAMPキナーゼによるTRPA1膜発現の制御. *Pain Research*, 2017, 32 (2), 141.

山本悟史, 戴毅. 呉茱萸の主成分エボジアミンによる鎮痛メカニズム. *漢方と最新治療*, 2017, 26 (4), 293-296.

桂木聡子

野崎園子, 桂木聡子, 市村久美子, 宮本真, 倉田なおみ. 神経内科疾患における服薬障害. *神経治療学*, 2017, 34 (2), 112-116.

甲谷繁

Yoshioka E, Imoto Y, Yoshikawa T, Kohtani S, Miyabe H. Iron (III) Chloride Promoted Oxidative Radical Cyclization for the Synthesis of Lactams Having a Quaternary Carbon. *Synlett*, 2017, 28 (7), 863-867.

Miyabe H, Kawashima A, Yoshioka E, Kohtani S. Progress in Enantioselective Radical Cyclizations. *Chem Eur J*, 2017, 23, 6225-6236.

Yoshioka E, Kohtani S, Hashimoto T, Takebe T, Miyabe H. Photo-Induced Atom-Transfer Radical Reactions Using Charge-Transfer Complex between Iodine and Tertiary Amine. *Chem Pharm Bull*, 2017, 65 (1), 33-35.

清水忠

Mabuchi M, Ueda M, Yoshida Y, Horiike K, Yamaoka K, Nakao S, Shimizu T, Ueda Y, Tsujikawa K, Tanaka A. Systematic Trial for Evaluating Docetaxel in a Human Prostate Cancer Cell DU145 Xenograft Model. *Anticancer Res*, 2017, 37, 1665-1676.

清水忠. 糖尿病の薬のカタチを楽しもう—構造式≠有機化学の世界によろこそ—。くすりと糖尿病, 2017, 6 (1), 9-16.

Shimizu T. Synthesis of resveratrol derivatives as new analgesic drugs through desensitization of the TRPA1 receptor. *Bioorg Med Chem Lett*, 2017, 27 (14), 3167-3172.

清水忠, 上田昌宏, 豊山美琴, 大森志保, 高垣伸匡. 薬剤師・薬学生を対象とした実践的Evidence-based Medicine (EBM) 教育の試みとその評価. *薬学雑誌*, 2017, 137 (8), 987-998.

清水忠, 中尾周平, 関まどか, 大森志保, 南畝晋平, 伊藤崇志. 1年次有機化学系科目における授業連携型学習支援の実施とその評価. *兵庫医療大学紀要*, 2017, 5 (2), 1-9.

大野喜也

大野喜也, 田中稔之. 1章 免疫細胞の種類と分化. 免疫ペディア. 羊土社, 2017.

川島祥

Miyabe H, Kawashima A, Yoshioka E, Kohtani S. Progress in Enantioselective Radical Cyclizations. *Chemistry-A European Journal*, 2017, 23 (26), 6225-6236.

Kohtani S, Kawashima A, Miyabe H. Reactivity of Trapped and Accumulated Electrons in Titanium Dioxide Photocatalysis. *Catalysts*, 2017, 7 (303).

小暮洋子

Nakao S, Mabuchi M, Wang S, Kogure Y, Shimizu T, Noguchi K, Tanaka A, Dai

Y. Synthesis of resveratrol derivatives as new analgesic drugs through desensitization of the TRPA1 receptor. *J Bioorg Med Chem Lett*, 2017, 15, 3167-3172.

村上雅裕

村上雅裕, 中谷真由美, 太田千裕, 安田恵, 天野学. 抗アレルギー点眼薬におけるスイッチOTC医薬品と医療用医薬品との製剤学的特性および経済性に関する比較検討. *医療薬学*, 2017, 43 (10), 592-598.

村上雅裕, 田中里佳, 安田恵, 天野学. チェーン薬局に勤務する薬剤師を対象とした認知症に対する政策・事業の認知度に関するアンケート調査. *社会薬学*, 2017, 36 (2), 118-125.

村上雅裕, 木下紗江, 上野楓, 安田恵, 天野学. 口腔内崩壊フィルム製剤の簡易懸濁法適応可否に関する検討. *日本地域薬局薬学会誌*, 2017, 5 (2), 45-52.

安田恵

村上雅裕, 中谷真由美, 太田千裕, 安田恵, 天野学. 抗アレルギー点眼薬におけるスイッチOTC医薬品と医療用医薬品との製剤学的特性および経済性に関する比較検討. *医療薬学*, 2017, 43 (10), 592-598.

村上雅裕, 木下紗江, 上野楓, 安田恵, 天野学. 口腔内崩壊フィルム製剤の簡易懸濁法適応可否に関する検討. *日本地域薬局薬学会誌*, 2017, 5 (2), 45-52.

村上雅裕, 田中里佳, 安田恵, 天野学. チェーン薬局に勤務する薬剤師を対象とした認知症に対する政策・事業の認知度に関するアンケート調査. *社会薬学*, 2017, 36 (2), 118-125.

吉岡英斗

Yoshioka E, Kohtani S, Hashimoto T, Takebe T, Miyabe H. Photo-Induced Atom-Transfer Radical Reactions Using Charge-Transfer Complex between Iodine and Tertiary Amine. *Chem Pharm Bull*, 2017, 65 (1), 33-35.

Yoshioka E, Imoto Y, Yoshikawa T, Kohtani S, Miyabe H. Iron (III) Chloride Promoted Oxidative Radical Cyclization for the Synthesis of Lactams Having a Quaternary Carbon.

Synlett, 2017, 28 (7), 863-867.

Yoshioka E, Miyabe H. Oxidative Radical Cyclization-Cyclization Reaction Leading to 1H-Benzo[*h*]isoindole Derivatives. *Molbank*, 2017, 2017, M929.


学会発表

田中稔之

二宮友可, 大野喜也, 田中稔之. マウス大腸癌細胞におけるmIFNGR1シグナルの役割. (ポスター), 第67回日本薬学会近畿支部総会・大会, 2017, 神戸.

加戸祥揮, 大野喜也, 田中稔之. IL-18による免疫チェックポイント阻害剤の作用増強におけるCD122陽性細胞の関与. (ポスター), 第67回日本薬学会近畿支部総会・大会, 2017, 神戸.

河野真紀, 檜垣里沙, 久世彩名, 二宮友可, 大野喜也, 田中稔之. マウスがん細胞の in vivo 増殖におけるPD-L1の役割. (ポスター), 第67回日本薬学会近畿支部総会・大会, 2017, 神戸.

大野喜也, 田中稔之.  Activin-A とヒアルロン酸を介するALDH陽性悪性中皮腫細胞の維持機構. (口頭(一般)), 第67回日本薬学会近畿支部総会・大会, 2017, 神戸.

九川文彦

伊藤優, 杉野佑太, 九川文彦. セルオートマトンに基づく、結核感染症の数理的解析. (ポスター), 日本薬学会第137年会, 2017, 仙台.

杉野佑太, 石川祐子, 九川文彦. CYP3A系遺伝子の発現に関わるmiR-433-3p及びmiR883b-5pの影響. (ポスター), 日本薬学会第137年会, 2017, 仙台.

坂本賢太, 杉野佑太, 九川文彦. 肺がんの治療法選択にゲーム理論を導入する試み. (ポスター), 第67回日本薬学会近畿支部総会・大会, 2017, 神戸.

永吉綾乃, 杉野佑太, 九川文彦. 兵庫医科大学病院で発行された処方箋の多変量解析を用いた解析. (ポスター), 第67回日本薬学会近畿支部総会・大会, 2017, 神戸.

杉野佑太, 九川文彦. miR-433-3p及びmiR883b-5pによるCYP3A系遺伝子発現への影響. (口頭

(一般)), 第67回日本薬学会近畿支部総会・大会, 2017, 神戸.

齋藤あつ子

高木志帆, 小石将統, 西本有里, 大森志保, 長野基子, 齋藤あつ子. ネズミバベシア (*Babesia microti*) 神戸型神戸株のcDNA 発現ライブラリーのスクリーニングによる主要抗原探索の試み. (口頭 (一般)), 第67回日本薬学会近畿支部総会・大会, 2017, 神戸.

永井利奈, 小石将統, 高木志帆, 西本有里, 大森志保, 長野基子, 齋藤あつ子. 兵庫県西宮市において捕獲されたマダニのバベシア属原虫感染調査報告. (口頭 (一般)), 第67回日本薬学会近畿支部総会・大会, 2017, 神戸.

新井和葉, 木村慎太郎, 大森志保, 長野基子, 齋藤あつ子. 吸入麻酔薬イソフルランの in vivo 培養ネズミバベシア原虫増殖に及ぼす影響. (口頭 (一般)), 第67回日本薬学会近畿支部総会・大会, 2017, 神戸.

前田拓也

前田拓也, 川崎翔平, 菅野正和, 羽田憲司. マイクロバブル化銀イオン水を用いた洗浄・消毒装置の性能に関する検討. (ポスター), 日本防菌防黴学会第44回年次大会, 2017, 豊中.

宮部豪人

吉岡英斗, 三好祥太, 柿木健吾, 甲谷繁, 宮部豪人. 3,6-二置換アライン前駆体の合成と反応. (口頭 (一般)), 日本薬学会第137年会, 2017, 仙台.

吉岡英斗, 西口楓, 青木公香, 川島祥, 甲谷繁, 宮部豪人. アラインのC=N π 結合挿入反応を端にした新規C-N σ 結合挿入反応の開発. (ポスター), 日本薬学会第137年会, 2017, 仙台.

吉岡英斗, 溝渕るみこ, 小林あゆみ, 川島祥, 甲谷繁, 宮部豪人. 有機色素を用いたシナナムアルデヒド類のオキシヒドロキシル化反応の開発. (ポスター), 日本薬学会第137年会, 2017, 仙台.

磯部陽佑, 川島祥, 梅田翔太, 吉岡英斗, 宮部豪人, 甲谷繁. 長波長光での光触媒分解を目指した希土類ナノ結晶の開発. (ポスター), 日本薬学会第137年会, 2017, 仙台.

池内翔一, 川島祥, 岡澤志紀, 山崎彩加, 柳川知由喜, 宮部豪人, 甲谷繁. 汚染物質の光触媒分解を

目指した疎水性mSiO₂-TiO₂の開発. (ポスター), 日本薬学会第137年会, 2017, 仙台.

増田史愛, 堀江麻衣, 川島祥, 吉岡英斗, 宮部豪人, 甲谷繁. キラル阻害剤を用いた酸化チタン上での光触媒的水素化反応. (ポスター), 日本薬学会第137年会, 2017, 仙台.

甲谷繁, 増田史愛, 堀江麻衣, 川島祥, 吉岡英斗, 宮部豪人. キラルなカルボン酸誘導体共存下における酸化チタン上での芳香族ケトンのエナンチオ選択的光水素化反応. (ポスター), 2017年光化学討論会, 2017, 仙台.

川島祥, 池内翔一, 柳川知由喜, 石崎真紀子, 宮部豪人, 前田初男, 甲谷繁. 酸化チタンへの金属担持による色彩変化と光触媒活性. (ポスター), 2017年光化学討論会, 2017, 仙台.

川島祥, 池内翔一, 柳川知由喜, 石崎真紀子, 宮部豪人, 前田初男, 甲谷繁. 汚染物質の分解を目指したカラフルな光触媒材料の開発. (口頭 (一般)), 第67回日本薬学会近畿支部総会・大会, 2017, 神戸.

甲谷繁, 増田史愛, 角桃乃, 川島祥, 吉岡英斗, 宮部豪人. キラルな低分子化合物が関わる酸化チタン上でのエナンチオ選択的光反応. (ポスター), 第36回固体表面光化学討論会, 2017, 彦根.

吉岡英斗, 甲谷繁, 橋本拓郎, 竹部智子, 宮部豪人. ヨウ素-アミン間の電荷移動錯体を触媒とした可視光励起型ラジカル反応. (ポスター), 第43回反応と合成の進歩シンポジウム, 2017, 富山.

森山雅弘

辻井聡容, 大垣孝文, 中永かおり, 木瀬大輔, 多田章二, 森山雅弘. 進行・再発の結腸・直腸がんに対するトリフルリジン・チピラシル塩酸塩配合錠の血液毒性におよぼす腎機能の影響. (口頭 (一般)), 日本臨床腫瘍薬学会学術大会2017, 2017.

辻井聡容, 大垣孝文, 中永かおり, 多田章二, 岡本禎晃, 森山雅弘. 薬剤師によるスピリチュアルケアの啓発と実践. (口頭 (招待・特別)), 第11回日本緩和医療薬学会年会, 2017, 札幌.

山本悟史

王勝蘭, 小林希実子, 小暮洋子, 山中博樹, 山本悟史, 八木秀司, 野口光一, 戴毅. 一次知覚神経におけるAMP キナーゼによるTRPA1膜発現の制御.

(ポスター), 日本疼痛学会, 2017, 神戸.

小松龍太, 城村沙愛, 岡田佳奈, 小暮洋子, 王勝蘭, 山本悟史, 戴毅. t-anethole の鎮痛作用における TRPA1 の役割. (ポスター), 日本薬学会近畿支部総会・大会, 2017, 神戸.

河野弘晶, 西村真央, 小暮洋子, 王勝蘭, 山本悟史, 戴毅. TNBSモデルラットに対する小建中湯の治療効果. (ポスター), 日本薬学会近畿支部総会・大会, 2017, 神戸.

中谷和貴, 小暮洋子, 王勝蘭, 戴毅, 山本悟史. ラット海馬ニューロンのシナプス伝達に対する Rolipram の効果. (ポスター), 日本薬学会近畿支部総会・大会, 2017, 神戸.

野下綾子, 小暮洋子, 王勝蘭, 山本悟史, 戴毅. AITC 耳介投与モデルラットを用いた新規疼痛行動評価方法. (ポスター), 日本薬学会近畿支部総会・大会, 2017, 神戸.

大野雅子

桂木聡子, 大野雅子. 薬局・薬剤師のかかりつけ機能強化における提案—個人や薬局でできること、薬剤師会としてできること—. (口頭 (一般)), 第67回日本薬学会近畿支部総会・大会, 2017, 神戸.

南利彩子, 浅川亜梨紗, 寶迫祐史, 桂木聡子, 大野雅子. 小児期クローン病におけるアザチオプリンの治療効果に対する遺伝子多型の影響. (ポスター), 第27回日本医療薬学会年会, 2017, 千葉. 山下祐生, 寶迫祐史, 浅川亜梨紗, 南利彩子, 桂木聡子, 大野雅子. 結核患者におけるSTAT3一塩基バリエーションの連鎖不平衡について. (ポスター), 第27回日本医療薬学会年会, 2017, 千葉.

浅川亜梨紗, 南利彩子, 寶迫祐史, 桂木聡子, 大野雅子. アザチオプリンを用いた小児の潰瘍性大腸炎の治療経過と遺伝子多型. (ポスター), 第27回日本医療薬学会年会, 2017, 千葉.

寶迫祐史, 南利彩子, 浅川亜梨紗, 山下祐生, 桂木聡子, 大野雅子. 結核患者におけるSTAT3遺伝子多型の発生頻度に関する検討. (ポスター), 第27回日本医療薬学会年会, 2017, 千葉.

山下祐生, 南利彩子, 寶迫祐史, 浅川亜梨紗, 桂木聡子, 横田総一郎, 大野雅子. STAT3遺伝子多型が薬剤性肝障害に及ぼす影響. (口頭 (一般)),

第38回日本臨床薬理学会学術総会, 2017, 横浜.

浅川亜梨紗, 稲岡涼, 南利彩子, 寶迫祐史, 門田弓, 桂木聡子, 田尻仁, 大野雅子. IMPDH1遺伝子多型はアザチオプリンによる副作用に関与するか.

(口頭(一般)), 第38回日本臨床薬理学会学術総会, 2017, 横浜.

甲谷繁

磯部陽佑, 川島祥, 梅田翔太, 吉岡英斗, 宮部豪人, 甲谷繁. 長波長光での光触媒分解を目指した希土類ナノ結晶の開発. (ポスター), 日本薬学会第137年会, 2017, 仙台.

池内翔一, 川島祥, 岡澤志紀, 山崎彩加, 柳川知由喜, 宮部豪人, 甲谷繁. 汚染物質の光触媒分解を目指した疎水性mSiO₂-TiO₂の開発. (ポスター), 日本薬学会第137年会, 2017, 仙台.

増田史愛, 堀江麻衣, 川島祥, 吉岡英斗, 宮部豪人, 甲谷繁. キラル阻害剤を用いた酸化チタン上での光触媒の水素化反応. (ポスター), 日本薬学会第137年会, 2017, 仙台.

吉岡英斗, 三好祥太, 柿木健吾, 甲谷繁, 宮部豪人. 3,6-二置換アライン前駆体の合成と反応. (口頭 (一般)), 日本薬学会第137年会, 2017, 仙台.

吉岡英斗, 溝渕るみこ, 小林あゆみ, 川島祥, 甲谷繁, 宮部豪人. 有機色素を用いたシンナムアルデヒド類のオキシヒドロキシル化反応の開発. (ポスター), 日本薬学会第137年会, 2017, 仙台.

吉岡英斗, 西口楓, 青木公香, 川島祥, 甲谷繁, 宮部豪人. アラインのC=N π 結合挿入反応を端にした新規C-N σ 結合挿入反応の開発. (口頭 (一般)), 日本薬学会第137年会, 2017, 仙台.

塚本効司

塚本効司, 前田初男. ペリレン-ポリアミン複合体をベースとした蛍光DNA センサーにおける誘導体化とその物性および蛍光特性変化. (ポスター), 日本薬学会第137年会, 2017, 仙台.

長野基子

高木志帆, 小石将統, 西本有里, 大森志保, 長野基子, 齋藤あつ子. ネズミバベシア (*Babesia microti*) 神戸型神戸株のcDNA発現ライブラリーのスクリーニングによる主要抗原探索の試み. (口頭 (一般)), 第67回日本薬学会近畿支部総会・大会, 2017, 神戸.

永井利奈, 小石将統, 高木志帆, 西本有里, 大森志保, 長野基子, 齋藤あつ子. 兵庫県西宮市において捕獲されたマダニのバベシア属原虫感染調査報告. (口頭 (一般)), 第67回日本薬学会近畿支部総会・大会, 2017, 神戸.

新井和葉, 木村慎太郎, 大森志保, 長野基子, 齋藤あつ子. 吸入麻酔薬イソフルランの*in vivo*培養ネズミバベシア原虫増殖に及ぼす影響. (ポスター), 第67回日本薬学会近畿支部総会・大会, 2017, 神戸.

藤野秀樹

藤野秀樹, 上田凌, 室田航. コンパートメントモデル解析による β 線放出核種の簡易推定法. (ポスター), 日本薬学会第137年会, 2017, 仙台.

松本徳人, 尾崎友基, 藤野秀樹. Excel VBAを用いたグレープフルーツジュースによる薬物相互作用の定量的予測. (ポスター), 日本薬学会第137年会, 2017, 仙台.

中尾周平, 上田昌宏, 橋本佳奈, 豊山美琴, 藤野秀樹, 天野学, 清水忠. 薬剤師生涯教育としての「化学構造式ワークショップ」の試みとその評価. (ポスター), 日本薬学会第137年会, 2017, 仙台.

永田瑛偲, 岡村悠希, 小倉摩耶, 寺田裕斗, 藤野秀樹. インクジェットプリンタを用いた ^{14}C 面線源の作製について. (ポスター), 第54回アイソトープ・放射線研究発表会, 2017, 東京.

岡村悠希, 小倉摩耶, 寺田裕斗, 永田瑛偲, 藤野秀樹. 食品を用いた放射線源の作製及び放射線教育への利用. (ポスター), 第54回アイソトープ・放射線研究発表会, 2017, 東京.

藤野秀樹. ベータ線放出核種のコンパートメントモデルによる推定法. (口頭 (基調)), 第54回アイソトープ・放射線研究発表会, 2017, 東京.

上田凌, 室田航, 藤野秀樹. イメージングプレートを用いた β 線放出核種の簡易推定法. (口頭 (一般)), 第67回日本薬学会近畿支部大会, 2017, 神戸.

松本徳人, 寺田裕斗, 尾崎友基, 藤野秀樹. Excel-VBAを用いたグレープフルーツジュースによる薬物相互作用の簡易予測法. (ポスター), 第67回日本薬学会近畿支部大会, 2017, 神戸.

三浦大作

関まどか, 三浦大作, 清宮健一. マウス筋芽細胞株におけるフェノフィブラート誘発細胞毒性に対するギャップ結合の影響. (口頭 (一般)), 第44回日本毒性学会学術年会, 2017, 横浜.

大野喜也

加戸祥揮, 大野喜也, 田中稔之. IL-18による免疫チェックポイント阻害剤の作用増強におけるCD122 陽性細胞の関与. (ポスター), 第67回日本薬学会近畿支部総会・大会, 2017.

河野真紀, 檜垣里沙, 久世彩名, 二宮友可, 大野喜也, 田中稔之. マウスがん細胞の*in vivo*増殖におけるPD-L1の役割. (ポスター), 第67回日本薬学会近畿支部総会・大会, 2017.

二宮友可, 大野喜也, 田中稔之. マウス大腸癌細胞におけるmIFNGR1シグナルの役割. (ポスター), 第67回日本薬学会近畿支部総会・大会, 2017.

大野喜也, 新玉紗理奈, 三宅咲奈, 田中亜弥, 筆坂世奈, 清水雄太, 山脇優輝, 田中稔之. Activin-Aとヒアルロン酸を介するALDH陽性悪性中皮腫細胞の維持機構. (口頭 (一般)), 第67回日本薬学会近畿支部総会・大会, 2017.

川島祥

吉岡英斗, 溝渕るみこ, 小林あゆみ, 川島祥, 甲谷繁, 宮部豪人. 有機色素を用いたシナナムアルデヒド類のオキシヒドロキシル化反応の開発. (ポスター), 日本薬学会第137年会, 2017, 仙台.

吉岡英斗, 西口楓, 青木公香, 川島祥, 甲谷繁, 宮部豪人. アラインのC=N π 結合挿入反応を端にした新規C-N σ 結合挿入反応の開発. (ポスター), 日本薬学会第137年会, 2017, 仙台.

磯部陽佑, 川島祥, 梅田翔太, 吉岡英斗, 宮部豪人, 甲谷繁. 長波長光での光触媒分解を目指した希土類ナノ結晶の開発. (ポスター), 日本薬学会第137年会, 2017, 仙台.

池内翔一, 川島祥, 岡澤志紀, 山崎彩加, 柳川知由喜, 宮部豪人, 甲谷繁. 汚染物質の光触媒分解を目指した疎水性 $\text{mSiO}_2\text{-TiO}_2$ の開発. (ポスター), 日本薬学会第137年会, 2017, 仙台.

増田史愛, 堀江麻衣, 川島祥, 吉岡英斗, 宮部豪人, 甲谷繁. キラル阻害剤を用いた酸化チタン上での光触媒的水素化反応. (ポスター), 日本薬学会第

137年会, 2017, 仙台.

川島祥, 池内翔一, 柳川知由喜, 石崎真紀子, 宮部豪人, 前田初男, 甲谷繁. 酸化チタンへの金属担持による色彩変化と光触媒活性. (ポスター), 2017年光化学討論会, 2017, 仙台.

甲谷繁, 増田史愛, 堀江麻衣, 川島祥, 吉岡英斗, 宮部豪人. キラルなカルボン酸誘導体共存下における酸化チタン上での芳香族ケトンのエナンチオ選択的光水素化反応. (ポスター), 2017年光化学討論会, 2017, 仙台.

川島祥, 池内翔一, 柳川知由喜, 石崎真紀子, 宮部豪人, 前田初男, 甲谷繁. 汚染物質の分解を目指したカラフルな光触媒材料の開発. (口頭(一般)), 第67回日本薬学会近畿支部総会・大会, 2017, 神戸.

甲谷繁, 増田史愛, 角桃乃, 川島祥, 吉岡英斗, 宮部豪人. キラルな低分子有機化合物が関わる酸化チタン上でのエナンチオ選択的光反応. (口頭(一般)), 第36回固体・表面光化学討論会, 2017, 彦根.

小淵修平

小淵修平, 安屋敷和秀. アデニン誘発性腎障害ラットにおけるインドキシル硫酸と血管機能障害. (口頭(一般)), 第90回日本薬理学会年会, 2017, 長崎.

小淵修平, 大川夕子, 去来川大空, 井上祐貴, 井原なぎさ, 今堀綾香, 中西春菜, 森元輝, 安屋敷和秀. アデニン誘発性腎障害ラットにおける血管機能障害機序—インドキシル硫酸と血管機能障害—. (口頭(一般)), 第67回日本薬学会近畿支部総会・大会, 2017, 神戸.

小淵修平, 安屋敷和秀. アデニン腎障害ラットにおいてインドキシル硫酸濃度の上昇が血管機能障害に深く関与する. (ポスター), 第40回日本高血圧学会総会, 2017, 松山.

田中康一

Tanaka K, Tomita K, Kitanaka N, Kitanaka J, Tsukahara T, Sato T, Takemura M, Nishiyama N. Influence of intracellular calcium ion on oxidative stress injury-induced thymidine incorporation. (ポスター), The 90th Annual Meeting of The Japanese Pharmacological

Society, 2017, Nagasaki.

Tsukahara T, Furukawa M, Tomita K, Tanaka K, Kitanaka N, Kitanaka J, Takemura M, Nishiyama N, Miyawaki S, Sato T. 17 α -estradiol regulates SPAK-KCC2 activity via GPR30 in the hippocampus of repeated stressed OVX mice. (口頭(一般)), The 90th Annual Meeting of The Japanese Pharmacological Society, 2017, Nagasaki.

Furukawa M, Tsukahara T, Tomita K, Tanaka K, Kitanaka N, Kitanaka J, Takemura M, Nishiyama N, Miyawaki S, Sato T. Neonatal maternal separation delays the timing of excitatory-to-inhibitory GABA switch via down-regulation of KCC2. (ポスター), The 90th Annual Meeting of The Japanese Pharmacological Society, 2017, Nagasaki.

Kitanaka N, Kitanaka J, Mimura Y, Kubota Y, Ogura S, Okada Y, Tanaka K, Tomita K, Tsukahara T, Sato T, Nishiyama N, Takemura M. The central and peripheral effects of memantine in mice. (ポスター), The 90th Annual Meeting of The Japanese Pharmacological Society, 2017, Nagasaki.

Kitanaka J, Kitanaka N, Nakano T, Kandori T, Muratani K, Murakami A, Tanaka K, Tomita K, Tsukahara T, Sato T, Nishiyama N, Takemura M. Tetrabenazine attenuates morphine-induced hyperlocomotion in mice. (ポスター), The 90th Annual Meeting of The Japanese Pharmacological Society, 2017, Nagasaki.

Tanaka K, Tomita K, Kitanaka N, Kitanaka J, Tsukahara T, Sato T, Takemura M, Nishiyama N. Influence of intracellular calcium ion on oxidative stress injury-induced nucleoside transport. (ポスター), Neuroscience2017, 2017, Chiba.

Kitanaka J, Kitanaka N, Amatsu Y, Sato M, Hisatomi E, Kitao E, Nakamura M, Tanaka K, Tomita K, Tsukahara T, Sato T, Nishiyama N, Takemura M. Pitolisant, a histamine

H₃ receptor inverse agonist, attenuates methamphetamine-induced hyperlocomotion in mice via histamine H₁ receptors. (ポスター), Neuroscience2017, 2017, Chiba.

Kitanaka N, Kitanaka J, Kandori T, Nakano T, Murakami A, Muratani K, Tanaka K, Tomita K, Tsukahara T, Sato T, Nishiyama N, Takemura M. Tetrabenazine, a VMAT2 inhibitor, attenuates morphine-induced hyperlocomotion but not antinociception in mice. (ポスター), Neuroscience2017, 2017, Chiba.

古川みなみ, 塚原飛央, 富田和男, 高裕子, 田中康一, 北中純一, 北中順恵, 西谷佳浩, 竹村基彦, 西山信好, 宮脇正一, 佐藤友昭. 母子分離雄性マウスに対するGABAスイッチを介した高次機能への影響. (口頭(一般)), 第70回日本薬理学会西南部会, 2017, 鹿児島.

富田和男, 桑原義和, 高裕子, 塚原飛央, 古川みなみ, 並河英紀, 田中康一, 漆原佑介, 北中純一, 北中順恵, 栗政明弘, 西谷佳浩, 宮脇正一, 西山信好, 竹村基彦, 福本学, 佐藤友昭. 治療耐性ががん細胞における過酸化水素耐性メカニズムの解析. (口頭(一般)), 第70回日本薬理学会西南部会, 2017, 鹿児島.

村上雅裕

村上雅裕, 太田千裕, 安田恵, 天野学. ベタメタゾン含有点眼薬の製剤学的特性に関する先発医薬品と後発医薬品の比較検討. (ポスター), 日本薬学会第137年会, 2017, 仙台.

田中里佳, 村上雅裕, 東大輔, 前田有輝, 内田恵実, 安田恵, 天野学. 糖尿病患者を対象としたインスリン自己注射の使用性に関するアンケート調査. (ポスター), 日本薬学会第137年会, 2017, 仙台.

清水忠, 安田恵, 村上雅裕, 橋本佳奈, 大野雅子, 桂木聡子, 天野学. 有機化学教員と臨床系教員の連携による実務実習事前学習の実践とその評価. (口頭(一般)), 第67回日本薬学会近畿支部総会・大会, 2017, 神戸.

村上雅裕, 安田恵, 前田初男, 新村健, 天野学. 医薬品のPTPシートからの押し出し操作に関する定量的評価. (ポスター), 第27回日本医療薬学会年会, 2017, 千葉.

安田恵

安田恵, 岸本修一, 富田愛, 山根祐規, 錦織和真, 天野学, 福島昭二. PXRアンタゴニストによる白金錯体の抗腫瘍効果増強作用の比較. (ポスター), 日本医療薬学会第137年会, 2017, 仙台.

村上雅裕, 太田千裕, 安田恵, 天野学. ベタメタゾン含有点眼薬の製剤学的特性に関する先発医薬品と後発医薬品の比較検討. (ポスター), 日本医療薬学会第137年会, 2017, 仙台.

田中里佳, 村上雅裕, 東大輔, 前田有輝, 内田恵実, 安田恵, 天野学. 糖尿病患者を対象としたインスリン自己注射の使用性に関するアンケート調査. (ポスター), 日本医療薬学会第137年会, 2017, 仙台.

清水忠, 安田恵, 村上雅裕, 橋本佳奈, 大野雅子, 桂木聡子, 天野学. 有機化学教員と臨床系教員の連携による実務実習事前学習の実践とその評価. (口頭(一般)), 第67回日本薬学会近畿支部総会・大会, 2017, 神戸.

村上雅裕, 安田恵, 前田初男, 新村健, 天野学. 医薬品のPTPシートからの押し出し操作に関する定量的評価. (ポスター), 第27回日本医療薬学会年会, 2017, 千葉.

安田恵, 岸本修一, 天野学, 福島昭二. Mg併用によるCDDPの細胞内取り込みへの影響. (ポスター), 第27回日本医療薬学会, 2017, 千葉.

吉岡英斗

吉岡英斗, 西口楓, 青木公香, 川島祥, 甲谷繁, 宮部豪人. アラインのC=N π 結合挿入反応を端にした新規C-N σ 結合挿入反応の開発. (ポスター), 日本薬学会第137年会, 2017, 仙台.

吉岡英斗, 溝渕るみこ, 小林あゆみ, 川島祥, 甲谷繁, 宮部豪人. 有機色素を用いたシンナムアルデヒド類のオキシヒドロキシ化反応の開発. (ポスター), 日本薬学会第137年会, 2017, 仙台.

吉岡英斗, 三好祥太, 柿木健吾, 甲谷繁, 宮部豪人. 3,6-二置換アライン前駆体の合成と反応. (口頭(一般)), 日本薬学会第137年会, 2017, 仙台.

杉野佑太

伊藤優, 杉野佑太, 九川文彦. セルオートマトンに基づく結核感染拡大の数理解析. (ポスター), 日本薬学会第137年会, 2017, 仙台.

杉野佑太, 石川祐子, 九川文彦. CYP3A系遺伝子の発現に関わるmiR433-3pおよびmiR883b-5pの影響. (ポスター), 日本薬学会第137年会, 2017, 仙台.

杉野佑太, 九川文彦. miR433-3pおよびmiR883b-5pによるCYP3A系遺伝子発現への影響. (口頭(一般)), 第67回日本薬学会近畿支部総会・大会, 2017, 神戸.

永吉綾乃, 杉野佑太, 木村健, 九川文彦. 兵庫医科大学で発行された処方箋の多変量解析を用いた解析. (ポスター), 第67回日本薬学会近畿支部総会・大会, 2017, 神戸.

坂本賢太, 杉野佑太, 九川文彦. 肺がんの治療法選択にゲーム理論を導入する試み. (ポスター), 第67回日本薬学会近畿支部総会・大会, 2017, 神戸.

関まどか

関まどか, 三浦大作, 清宮健一. マウス筋芽細胞株におけるフェノフィブラート誘発細胞毒性に対するギャップ結合の影響. (口頭(一般)), 第44回日本毒性学会学術大会, 2017.

講師講演

前田拓也

前田拓也. 薬剤耐性菌(細菌・真菌). 講師, 日本防菌防黴学会第44回年次大会, 2017, 豊中.

清水忠

清水忠. 薬のカタチを楽しもう. 講師, 東京薬科大学薬学部特別講義, 2017, 東京.

清水忠. 薬のカタチを楽しもう. 講師, 大阪府病院薬剤師会第4支部研修会, 2017, [大阪].

清水忠. 薬のカタチを楽しもう仕事に使える? 構造式≠有機化学の世界へー. 講師, 京都私立病院協会・第96回薬剤師部会講演会, 2017, [京都].

清水忠. 薬のカタチを楽しもう. 講師, 岡山県薬剤師会玉島支部第101回薬薬連携勉強会, 2017, [岡山].

清水忠. 「臨床貢献」を目指す基礎&薬学教育研究. 講師, 兵庫県薬剤師会・病院薬剤師会連携1周年記念大会, 2017.

藤野秀樹

藤野秀樹. 放射線と健康について. 講師, 神戸市シ

ルバーカレッジ, 2017, 神戸.

藤野秀樹. 喫煙による薬物動態の変動及び予測法について. 講師, 平成28年度第二回兵庫県薬剤師会禁煙指導認定薬剤師講習会, 兵庫県薬剤師会, 2017, 神戸.

藤野秀樹. くすりの話、くすりの正しい飲み方と飲み合わせ. 講師, 神戸市シルバーカレッジ, 2017, 神戸.

藤野秀樹. 実務に必要な薬物動態の基礎と応用のポイント. 講師, TH企画セミナーセンター, 2017, 東京.

村上雅裕

村上雅裕. かかりつけ薬剤師と薬のはなし. 講師, こうべ生涯学習カレッジ, 2017, 神戸.

受賞学術賞

戴毅

戴毅. 平成29年度日本生薬学会論文賞, 日本生薬学会, 2017.

看護学部

基盤看護学

著書・論文

土田敏恵

Takesue Y, Tsuchida T. Strict glycemic control to prevent surgical site infections in gastroenterological surgery. *Annals of Gastroenterological Surgery*, 2017, 1 (1), 52-59.

片岡ひとみ, 酒井透江, 松原康美, 安藤嘉子, 土田敏恵, 三富陽子, 渡邊光子. 質問紙調査による消化管ストーマ保有者の生活における困った経験と相談先の実態調査. *日本創傷・オストミー・失禁管理学会誌*, 2017, 21 (3), 273-280.

鈴木みゆき

鈴木みゆき, 徳重あつ子. 高齢男性の回復期脳卒中片麻痺患者における排尿状態と非麻痺側上肢・下肢筋肉量との関係. *日本健康医学会雑誌*, 2017, 26 (2), 103-111.

鈴木みゆき, 徳重あつ子, 竹田千佐子. 回復期脳卒中患者に対する排尿援助についての実態調査: 排尿日誌の活用・行動療法の実施・多職種連携の観点から. *リハビリテーション連携科学*, 2017, 18 (2), 143-151.

増田富美子

増田富美子, 府川晃子, 堀口和子, 竹田千佐子. 学士課程入門を履修した看護学部学生における学習に関する自己評価の推移. *兵庫医療大学紀要*, 2017, 5 (1), 21-30.

学会発表

土田敏恵

土田敏恵. カテーテル留置期間に着目した文献レビューからの考察. (シンポジウム・ワークショップ パネル (指名)), 第32回日本環境感染学会総会, 2017, 神戸.

宮前奈央, 土田敏恵. 乳がん術後放射線照射部位における皮膚バリア機能の経時的変化と他覚症状および保湿ケアとの関連性. (口頭 (一般)), 第26回日本創傷オストミー失禁管理学会学術集会,

2017, 千葉.

Tsuchida T, Takesue Y, Ichiki K, Nakajima K, Ueda T, Uchino M, Ikeuchi H. Strict glycemic control to prevent surgical site infections in gastroenterological surgery in patients with and without diabetes mellitus. (口頭 (一般)), 30th International Congress of Chemotherapy and Infection, 2017, Taipei (Taiwan).

土田敏恵, 竹末芳生. ガイドラインに基づく血糖管理の実践に向けて. (シンポジウム・ワークショップ パネル (公募)), 第30回日本外科感染症学会総会, 2017, 東京.

荻野待子

Katada C, Takatani S, Suzui E, Nishimura A, Suzuki Y, Ogino M, Fujii K, Masuda T, Sasagawa H, Tsuchida T, Kanzaki H. Differences Between Undergraduate Students' and Graduate Students' Perspectives about Patients' Needs in Japan. (ポスター), Asia American Pacific Islander Nurses Association 14th Annual conference, 2017, Honolulu(USA).

勝原裕美子, 井部俊子, 荻野待子, 佐野敬子, 任和子, 中川典子, 濱田安岐子. 勤務表作成の倫理、ベッドコントロールの倫理から看護管理の倫理を考える. (シンポジウム・ワークショップ パネル (指名)), 日本看護管理学会第21回学術集会, 2017, 横浜.

岸あゆみ

佐藤道子. 看護教育における「創造性」の概念分析. (ポスター), 第37回日本看護科学学会, 2017, 仙台.

鈴木みゆき

Suzuki M, Ibe A, Tsuchida T, Kasamatsu Y. The association of cold sensation in female clinical nurses in Japan with wellbeing and lifestyle habits. (ポスター), TNMC & WANS International Nursing Research Conference 2017, 2017.

鈴木みゆき, 伊部亜希, 土田敏恵, 笠松由利. 女性看護師の手の冷たさに関する実態調査—勤務場所・年齢・勤務形態による相違—. (口頭 (一般)), 第25回看護人間工学部会研究発表会, 2017.

増田富美子

Katada C, Takatani S, Suzui E, Nishimura A, Suzuki Y, Ogino M, Fujii K, Masuda T, Sasagawa H, Tsuchida T, Kanzaki H. Differences Between Undergraduate Students' and Graduate Students' Perspectives about Patients' Needs in Japan. (ポスター), Asian American Pacific Islander Nurses Association's 14th Annual Conference, 2017, Honolulu (USA).

宮前奈央

宮前奈央. 乳がん術後放射線照射部位における皮膚バリア機能の経時的変化と他覚症状および保湿ケアとの関連性. (口頭(招待・特別)), 日本創傷・オストミー・失禁管理学会, 2017.

講師講演**荻野待子**

荻野待子. 医療安全学：医療倫理. 講師, 認定看護師教育課程(手術看護分野), 学校法人兵庫医科大学医療人育成センター, 2017.

岸あゆみ

岸あゆみ. 看護過程. 講師, 認定看護師教育課程 手術看護分野, 2017, 西宮.

療養支援看護学**著書・論文****網島ひづる**

小島操子, 佐藤禮子, 中村めぐみ, 西尾里美, 田中京子, 高山京子, 森本悦子, 網島ひづる, 横澤三奈子, 他. 事例10 病気を受け入れられないまま食道がん手術を受けたBさんの危機. 危機状況にある患者・家族の危機分析と看護介入—事例集 フィンク/コーン/アグイレラ/ムース/家族の危機モデルより. 第2版, 金芳堂, 2017.

神崎初美

神崎初美, 三浦靖史編者. 第2章1, 第3章1.2.10. 最新知識と事例がいっぱい リウマチケア入門. メディカ出版, 2017.

神崎初美, 元木絵美, 浅井剛. 手指機能や握力に依存せず簡単に絞れる「ふきん絞り器」の開発とリ

ウマチ患者への適応. 兵庫医療大学紀要, 2017, 5 (2), 11-16.

松本麻里

松本麻里. 第Ⅳ章 慢性疾患を有する患者のセルフマネジメントを促す技術 2.患者教育が必要なセルフケア技術 A.呼吸法 (口すぼめ呼吸・腹式呼吸), B.排痰法 (咳嗽, 体位ドレナージ, ハッフイング). 成人看護技術 生きた臨床技術を学び看護実践能力を高める. 改訂第2版, 南江堂, 2017.

立垣祐子

立垣祐子, 松清由美子, 石井美恵子, 渡邊智恵. 平成28年熊本地震における日本災害学会ネットワーク活動調査・調整部の初期調査. 日本災害看護学会誌, 2017, 18 (3), 43-49.

松清由美子, 立垣祐子, 石井美恵子. 平成28年熊本地震における1年後の継続調査報告. 日本災害看護学会, 2017, 19 (2), 52-57.

市川由希子

法橋尚宏編著, 市川由希子, 岡西幸恵, 賀数勝太, 崎山愛, 清水彩, 鈴木智子, 高谷知史, 竹内千夏, 土岐弘美, 中口尚始, 西元康世, 畑山智子, 萩岡あかね, 藤森由子, 本田順子, 三木佳子, 山尾美希, 山口未久. 看護師国家試験ラピッドスタディー2018. 有限会社EDITEX, 2017, 68-93.

学会発表**網島ひづる**

Onishi H, Furuta A, Nakamoto K, Takayama M, Amijima H. Impact of brain ventricle size on semi-quantitative index derived from 123-I-FP-CIT images using a novel 3D-striatum digital brain (3D-SDB). (ポスター), 30th European Association of Nuclear Medicine EANM'17, 2017, Vienna (Austria).

神崎初美

Katada C, Takatani S, Suzui E, Nishimura A, Suzuki Y, Ogino M, Fujii K, Masuda T, Sasagawa H, Tsuchida T, Kanzaki H. Differences Between Undergraduate Students' and Graduate Students' Perspectives about Patients' Needs in Japan. (ポスター), ILC conference, 2017, Hawaii (USA).

神崎初美. リウマチ看護実践能力尺度によって測定された「登録リウマチケア看護師」の認識する実践能力課題. (ポスター), 第61回日本リウマチ学会, 2017, 福岡.

田中由紀, 高橋直美, 大西亜子, 大西誠, 澤田直哉, 神崎初美. 面接シートの有効活用と研修システムの構築についての検討. (ポスター), 第61回日本リウマチ学会, 2017, 福岡.

神崎初美. カウンセリングマインドを活かした「面接シート」「意思決定支援シート」の看護実践での活用(経過報告). (口頭(一般)), 第15回兵庫リウマチチーム医療研究会, 2017, 神戸.

神崎初美, 松本麻里. 開発した関節リウマチ看護師実践能力尺度によるモデル構築. (ポスター), 第11回日本慢性看護学会学術集会, 2017, 佐久.

神崎初美. 東日本大震災・熊本地震の活動等の経験から災害時リウマチ患者への看護支援について考える. (シンポジウム・ワークショップ パネル(公募)), 第32回日本臨床リウマチ学会, 2017, 神戸.

松本麻里

森本美智子, 河田照絵, 今戸美奈子, 竹川幸恵, 本城綾子, 伊藤史, 上原喜美子, 毛利貴子, 松本麻里, 森菊子, 池田由紀, 長谷佳子. 慢性呼吸器疾患患者の息切れに対するコントロール感尺度における配置不変性の検討—COPD/IP患者での検討—. (ポスター), 第11回日本慢性看護学会学術集会, 2017, 佐久.

松本麻里, 森菊子, 森本美智子, 今戸美奈子, 河田照絵, 竹川幸恵, 本城綾子, 伊藤史, 上原喜美子, 毛利貴子, 池田由紀, 長谷佳子. 息切れのある慢性呼吸器疾患患者が医療者に求める支援ニーズ—全国質問紙調査自由記載の内容分析による検討—. (ポスター), 第11回日本慢性看護学会学術集会, 2017, 佐久.

伊藤史, 森本美智子, 今戸美奈子, 竹川幸恵, 本城綾子, 松本麻里, 毛利貴子, 上原喜美子, 池田由紀. 慢性呼吸器疾患患者の吸入薬に関するアドヒアランスの実態. (ポスター), 第27回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会, 2017, 仙台.

森菊子, 森本美智子, 河田照絵, 竹川幸恵, 本城綾

子, 今戸美奈子, 毛利貴子, 松本麻里, 上原喜美子, 池田由紀, 伊藤史. 間質性肺炎患者における息切れのマネジメント法の特徴. (ポスター), 第37回日本看護科学学会学術集会, 2017, 仙台.

立垣祐子

立垣祐子. 「福祉避難所」に関する文献検討: 福祉避難所の確保・運営ガイドラインに基づく研究課題の考察. (ポスター), 日本災害看護学会第19回年次大会, 2017, 倉吉.

立垣祐子. 精神保健福祉士と看護師の連携に関する到達点と課題. (口頭(一般)), 日本精神保健福祉学会第6回学術研究集会, 2017, 神戸.

講師講演

神崎初美

神崎初美. 災害における看護師の役割と日頃の備え. 特別講演・記念講演, 卒業記念講演, 関西労災看護専門学校, 2017, 尼崎.

神崎初美, 松田真紀子. RA看護実践する上で必要な理論. 講師, 関節リウマチ診療に携わるメディカルスタッフのためのWebシンポジウム, UCBジャパン, 2017, 東京.

神崎初美. リウマチ患者さんに必要となるセルフマネジメントと看護師が行う意思決定支援. 講師, 平成29年度兵庫県リウマチ友の会支部総会, 2017, 神戸.

神崎初美, 元木絵美. 患者の困りごとを引き出せる面接技術手法を学ぼう. 講師, Biologics Nurse Seminar in Kobe, 田辺三菱製薬株式会社, 2017, 神戸.

神崎初美. リウマチ患者における精神ケア: リウマチ患者の理解と心理的支援の方法. 特別講演・記念講演, リウマチケアの集い2017, ヤンセンファーマ株式会社 大阪リウマチケアの集い, 2017, 大阪.

家族支援看護学

著書・論文

飯尾祐加

飯尾祐加, 鈴井江三子, 水野(松本)由子. 若年女性の冷えの自覚および末梢皮膚温・末梢血流量の関

連性. 母性衛生, 2017, 58 (1), 74-82.
 飯尾祐加, 水野(松本)由子, 山名華代, 鈴木江三子.
 若年女性における呼吸エクササイズの冷え改善効果. 母性衛生, 2017, 58 (2), 403-411.

藤井加那子

藤井加那子. 新生児聴覚スクリーニングにおいて要検査(Refer)となった家族への精密検査機関における看護支援の現状. 兵庫医療大学紀要, 2017, 5 (1), 11-19.

川内恵美子

Kawauchi E, Inoue R, Ohashi K. Relationship of High Work Engagement among Staff Midwives with Their Immediate Superiors' Burnout on Maternity and Labor Wards in Japan. Open Journal of Nursing, 2017, 7 (1), 39-49.

川内恵美子, 大橋一友. 産科病棟で働く助産師の仕事の身体的活動度および快適さと仕事に対するメンタルヘルスの関連. 母性衛生, 2017, 58 (1), 40-48.

学会発表

藤井加那子

Katada C, Takatani S, Suzui E, Nishimura A, Suzuki Y, Ogino M, Fujii K, Masuda T, Sasagawa H, Tsuchida T, Kanzaki H. Differences Between Undergraduate Students' and Graduate Students' Perspectives about Patients' Needs in Japan. (ポスター), Asian American Pacific Islander Nurses Association 14th Annual Conference, 2017, Hawaii(USA).

片田千尋

Katada C, Takatani S, Suzui E, Nishimura A, Suzuki Y, Ogino M, Fujii K, Masuda T, Sasagawa H, Tsuchida T, Kanzaki H. Differences Between Undergraduate Students' and Graduate Students' Perspectives about Patients' Needs in Japan. (ポスター), AAPINA's 14th Annual National Conference, 2017, Hawaii(USA).

Okada K, Masuko K, Nishimura A, Katada C. Relationship between Sleep Quality and Home Blood Pressure in Healthy Primigravidas. (ポ

スター), 31st International Confederation of Midwives Triennial Congress, 2017, Toronto (Canada).

高谷知史

Takatani S. "Patient's Families" and "Nurses"-How Do They Mutually Build the Caring Relationship in Promoting the Quality of FoC?. (その他), International Learning Collaborative (ILC) Conference and Summit-2017, 2017, Uppsala(Sweden).

生活支援看護学

著書・論文

細見明代

細見明代. ナーシング・グラフィカ看護の統合と実践③災害看護. メディカ出版, 2017, 115-119.

野口恭子, 勝原裕美子, 鈴木恵理子, 番匠千佳子, ウィリアムソン彰子, 小笹由香, 小島操子, 細見明代. 東日本大震災被災地へ支援のために派遣された看護師が感じた倫理課題. 日本看護倫理学会誌, 2017, 9 (1), 38-44.

堀口和子

堀口和子. シリーズ・看護・介護・福祉のための「教育学」介護のための教育学. あいり出版, 2017.

柴田りさ, 堀口和子, 鈴木千枝, 滝ゆず. 配偶者と死別した独居高齢者のソーシャルサポートに基づく悲嘆の適応過程. 在宅医療助成勇美記念財団 2014年度後期一般公募「在宅医療研究への助成」完了報告書, 2017.

増田富美子, 府川晃子, 堀口和子, 竹田千佐子. 学士課程入門を履修した看護学部学生における学習に関する自己評価の推移. 兵庫医療大学紀要, 2017, 5 (1), 21-30.

滝ゆず, 堀口和子, 岩田昇. 要介護高齢者の主介護者の介護と仕事の両立に関連する要因一両立群と離職群の比較から一. 日本在宅ケア学会誌, 2017, 21 (1), 44-51.

堀口和子, 岩田昇, 小林澄子, 鈴木千枝. 独居高齢者の在宅エンド・オブ・ライフに影響する要因一独居高齢者の意思・別居家族の意向と心構え一.

日本在宅ケア学会誌, 2017, 21 (1), 36-43.

久保田真美, 堀口和子. 介護支援専門員がとらえた
認知症高齢者の独居生活の限界—独居生活開始から
施設入所までの過程より—. 日本在宅ケア学会
誌, 2017, 21 (1), 67-75.

魚崎須美

魚崎須美. サービス・ラーニングに着目した公衆衛
生看護学実習の試み. 兵庫医療大学紀要, 2017,
5 (2), 11-16.

鈴木千枝

鈴木千枝. シリーズ 看護・介護・福祉のための「教
育学」④介護のための『教育学』. あいり出版,
2017, 87-93.

柴田りさ, 堀口和子, 鈴木千枝, 滝ゆず. 配偶者と
死別した独居高齢者のソーシャルサポートに基づ
いた悲嘆の適応過程. 在宅医療助成勇美記念財団
2014年度後期一般公募「在宅医療研究への助成」
完了報告書, 2017.

堀口和子, 岩田昇, 小林澄子, 鈴木千枝. 独居高齢
者の在宅エンド・オブ・ライフに影響する要因
独居高齢者の意思・別居家族の意向と心構え. 日
本在宅ケア学会誌, 2017, 21 (1), 36-43.

久保田真美

久保田真美. 独居認知症高齢者のケアと家族支援.
臨床老年看護, 2017, 24 (1), 76-82.

久保田真美, 高山成子. 認知症高齢者の独居生活—
認知症高齢者が語る体験や思いと介護支援専門員
が語る危険から—. 関西国際大学研究紀要, 2017,
18, 23-35.

久保田真美, 堀口和子. 介護支援専門員がとらえた
認知症高齢者の独居生活の限界—独居生活開始から
施設入所までの過程より—. 日本在宅ケア学会
誌, 2017, 21 (1), 67-75.

学会発表

細見明代

末安明美, 細見明代, 山田千春. 認知症高齢者の思
いを尊重した看護実践につながった熟練看護師の
経験. (ポスター), 日本看護研究学会第43回学術
集会, 2017, 東海.

魚崎須美

魚崎須美. KOMI ケア理論を基に作成した学習教材

を用いた授業の試み—保健師学生を対象とした結
核患者保健指導の授業を例に一. (口頭 (一般)),
第8回ナイチンゲールKOMI ケア学会学術集会,
2017, 大阪.

山田千春

末安明美, 細見明代, 山田千春. 認知症高齢者の思
いを尊重した看護実践につながった熟練看護師の
経験. (ポスター), 日本看護研究学会第43回学術
集会, 2017, 東海.

西山章弘, 山田千春. 介護老人保健施設の介護職が
看護職と協働する上で求めるパートナーシップの
基本的要素の検討. (ポスター), 第19回日本看護
医療学会学術集会, 2017, 名古屋.

末安明美

末安明美, 細見明代, 山田千春. 認知症高齢者の思
いを尊重した看護実践につながった熟練看護師の
経験. (ポスター), 日本看護研究学会第43回学術
集会, 2017, 東海.

講師講演

堀口和子

堀口和子. 家族看護. 講師, 医療法人協和会,
2017.

堀口和子. 看護研究について. 講師, 医療法人協和
会マリナホスピタル, 2017, 西宮.

堀口和子. 家族看護. 講師, 医療法人協和会,
2017.

堀口和子. 看護過程. 講師, 医療法人協和会訪問看
護事業部, 2017.

堀口和子. 看護記録. 講師, 医療法人協和会訪問看
護事業部, 2017.

土井有羽子

土井有羽子. 保健・医療・福祉サービス提供組織の
仕組みと連携. 講師, 2017年度認定看護管理者教
育課程セカンドレベル, 兵庫県看護協会, 2017,
神戸.

魚崎須美

魚崎須美. 看護・医療の仕事について. 講師, 総
ヒューマン類型講義「看護・医療の仕事について」,
兵庫県立伊丹西高等学校, 2017, 伊丹.

魚崎須美. ナイチンゲールの7つの素顔と「看護覚
え書」. 講師, 兵庫医療大学地域交流プロジェクト

ト，兵庫医療大学社会学連携推進機構，2017，神戸。

魚崎須美．病人の看護と健康人の看護．講師，兵庫医療大学地域交流プロジェクト，兵庫医療大学社会学連携推進機構，2017，神戸。

魚崎須美．からだがここにおよぼす影響．講師，兵庫医療大学地域交流プロジェクト，兵庫医療大学社会学連携推進機構，2017，神戸。

鈴木千枝

鈴木千枝．在宅看護の対象の特徴．講師，関西国際大学，2017，三木。

鈴木千枝．訪問看護の実際．講師，関西国際大学，2017，三木。

久保田真美

久保田真美．在宅認知症高齢者の暮らしを支えるケアと多職種連携．講師，認知症研修会，兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会，2017，神戸。

久保田真美．独居生活の認知症高齢者の援助．講師，介護教育研修，福井県立すこやかシルバー病院，2017，[福井]。

リハビリテーション学部

理学療法学科

著書・論文

藤岡宏幸

Morisawa T, Tamaki A, Nagai K, Tsukagoshi R, Nozaki S, Miyamoto T, Mori A, Kaya M, Fujioka H. Effects of increased physical activity on body composition, physical functions, vascular functions, HR-QOL, and self-efficacy in community-dwelling elderly people. *J Phys Ther Sci*, 2017, 29 (1), 152-157.

Fujioka H, Takagi Y, Tanaka J, Yoshiya S. Corrective step-cut osteotomy at the affected bone for correction of rotational deformity due to fracture of the middle phalanx. *J Hand Surg (Asian-Pacific volume)*, 2017, 22 (2), 204-243.

高木陽平, 大井雄紀, 土山耕南, 藤岡宏幸, 吉矢晋一. 高齢者反復性肩関節脱臼に対するリバー型人工肩関節置換術. *肩関節*, 2017, 41 (2), 1-3.

平上尚吾, 塚越累, 藤岡宏幸, 川口浩太郎, 曾田幸一朗, 打田明, 三島淳一, 萩野智之, 道免和久. 第7回学校法人兵庫医科大学リハビリテーション関連施設合同セミナー実践報告. *兵庫医療大学紀要*, 2017, 5 (1), 31-34.

加藤寛, 高木陽平, 大井雄紀, 藤岡宏幸, 吉矢晋一. Kashin-Beck病に伴う両側肘部管症候群の1例. *中部整災誌*, 2017, 60 (1), 155-156.

Miyamoto T, Kou K, Yanamoto H, Hashimoto S, Ikawa M, Sekiyama T, Nakano Y, Kashiwamura S, Takeda C, Fujioka H. Effects of neuromuscular electrical stimulation on brain-derived neurotrophic factor. *Int J Sports Med*, 2017, e-pub.DOI:10.1055/s-0043-120343.

澤井龍生, 高木陽平, 樋口史典, 大井雄紀, 藤岡宏幸, 吉矢晋一. 先天性第7因子欠乏症を有する変形性肩関節症に対し肩人工骨頭置換術を施行した1例. *中部整災誌*, 2017, 60 (4), 755-756.

樋口史典, 高木陽平, 大井雄紀, 藤岡宏幸, 吉矢晋一. 有鉤骨鉤骨折遷延治癒症例に対する保存治療. *中部整災誌*, 2017, 60 (5), 847-848.

岩倉亮, 高木陽平, 樋口史典, 大井雄紀, 藤岡宏幸, 吉矢晋一. 橈骨遠位端骨折における掌側プレート固定術後の長母指屈筋腱断裂の2例. *中部整災誌*, 2017, 60 (5), 855-856.

小山智士, 川口浩太郎, 藤岡宏幸, 西川哲夫. 変形性股・膝関節症患者に対する体幹機能に着目した理学療法介入の検討—Lower-crossed syndromeの概念を用いて—. *兵庫医療大学紀要*, 2017, 5 (2), 23-28.

中川(河崎)愛, 坂口顕, 原田佳奈, 川口浩太郎, 藤岡宏幸. 健康成人女性の月経痛に対する経皮的電気刺激治療の効果. *理学療法学*, 2017, <http://doi.org/10.15063/rigaku.11183>.

松尾悠亮, 小山智士, 山下雅俊, 西川哲夫, 藤岡宏幸. 大腿骨頸部疲労骨折5例の治療経験. *関西臨床スポーツ医・科学研究会誌*, 2017, 27, 1-4.

玉木彰

Morisawa T, Tamaki A, Nagai K, Tsukagoshi R, Nozaki S, Miyamoto T, Mori A, Kaya M, Fujioka H. Effect of increased physical activity on body composition, physical functions, vascular functions, HR-QOL, and self-efficacy in community dwelling elderly people. *Journal of Physical Therapy Science*, 2017, 29 (1), 152-157.

永渕輝佳, 永井宏達, 玉木彰, 永富孝幸, 松本恵理子, 二宮晴夫. 人工股関節全置換術後早期の機能回復に関する侵入法別前向き比較研究. *Jpn J Rehabil Med*, 2017, 54 (1), 56-66.

Kubori Y, Matsuki R, Hotta A, Morisawa T, Tamaki A. Comparison between stair-climbing test and six-minute walk test after lung resection using video-assisted thoracoscopic surgery lobectomy. *J Phys Ther Sci*, 2017, 29, 902-904.

Fujisawa C, Tamaki A, Yamada E, Matsuoka H. Influence of gender on muscle fatigue during dynamic knee contractions. *Physical therapy research*, 2017.

玉木彰, 小泉美緒. 神経筋電気刺激. 非がん性呼吸器疾患の緩和ケア. 津田徹他編. 南山堂, 2017, 125-127.

田村宏, 名和敬, 清水憲政, 柳良美, 玉木彰, 喻陽子. 高齢期の誤嚥性肺炎に対する排痰援助の共有化と包括的アプローチの有用性. 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌, 2017, 27 (1), 80-85.

玉木彰. 病期・職域別の理学療法 (1) 急性期. 15 レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 理学療法概論. 石川朗監修. 中山書店, 2017, 95-102.

玉木彰. 低頻度のリハビリテーションでどのように効果を出すのか?. 身につける理学療法 内部障害の症例検討. 玉木彰編. 羊土社, 2017.

玉木彰. まずは違いを押さえよう! 呼吸理学療法の種類と目的. 呼吸器ケア, 2017, 15 (12), 1150-1155.

川口浩太郎

川口浩太郎, 坂口顕. 【痛みへのアプローチ】スポーツ現場における「痛み」の捉え方.

Sportsmedicine, 2017, 29 (2), 2-5.

坂口顕, 川口浩太郎. 【痛みへのアプローチ】スポーツ現場における物理療法. Sportsmedicine, 2017, 29 (2), 6-12.

中川愛, 坂口顕, 原田佳奈, 川口浩太郎, 藤岡宏幸. 健康成人女性の月経痛に対する経皮的電気刺激治療の効果. 理学療法学, 2017, 44 (4), 272-276.

小山智士, 川口浩太郎, 藤岡宏幸, 西川哲夫. 変形性股・膝関節症患者に対する体幹機能に着目した理学療法介入の検討 Lower-crossed syndrome の概念を用いて. 兵庫医療大学紀要, 2017, 5 (2), 23-28.

日高正巳

吉塚久記, 玉利誠, 横尾正博, 日高正巳, 浅見豊子. 理学療法評価の核技術項目における主観的困難感、学生と臨床実習教育者の認識に着目して. 理学療法科学, 2017, 32 (1), 7-10.

内山靖, 奈良勲編集. II部A35皮膚一褥瘡. 図解運動療法ガイド. 文光堂, 2017.

中山健夫監修, 日高正巳, 藤本修平編集. PT・OT・STのための診療ガイドライン活用法. 医歯薬出版株式会社, 2017.

日高正巳他16名. 第1部理学療法OJT第1章理学療法士の生涯発達, 第3部卒前OJT第1章生涯発達における卒前ステージ. 卒前・卒後教育に役立つ

理学療法士育成OJTテキスト. 斉藤秀之, 有馬慶美, 平林弦大編. 文光堂, 2017.

日高正巳他17名. 臨床の“疑問”を“研究”に変える臨床研究First stage. 網本和, 高倉保幸編. 医学書院, 2017, 119-135.

坂口顕

中川愛, 坂口顕, 原田佳奈, 川口浩太郎, 藤岡宏幸. 健康成人女性の月経痛に対する経皮的電気刺激治療の効果. 理学療法学, 2017, 44 (4), 272-276.

坂口顕, 川口浩太郎. 特集 痛みへのアプローチ—「痛み」の理解と治療、スポーツ現場での対応スポーツ現場における物理療法. Sportsmedicine, 2017, 188, 6-12.

川口浩太郎, 坂口顕. 特集 痛みへのアプローチ—「痛み」の理解と治療、スポーツ現場での対応スポーツ現場における「痛み」の捉え方. Sportsmedicine, 2017, 188, 2-5.

庄本康治, 坂口顕. 寒冷療法. PTOT ビジュアルテキスト エビデンスから身につける物理療法. 羊土社, 2017, 132-142.

森明子

Morisawa T, Tamaki A, Nagai K, Tsukagoshi R, Nozaki S, Miyamoto T, Mori A, Kaya M, Fujioka H. Effects of increased physical activity on body composition, physical functions, vascular functions, HR-QOL, and self-efficacy in community-dwelling elderly people. The Journal of Physical Therapy Science, 2017, 29 (1), 152-157.

森明子. ウィメンズヘルス 尿失禁に対する骨盤底筋トレーニングの基礎知識. PT ラーニング, 2017.

森明子. 骨盤底筋トレーニングを習慣化する臨床的要素. PT ラーニング, 2017.

Mori A, Kakiuchi M, Matsumoto E, Nozaki S. Ingenuity for Enabling the Habituation of Pelvic Floor Muscle Training. The Journal of Physical Therapy Science, 2017, 29 (8), 1287-1291.

鈴木重行, 三輪好生, 森山真吾, 井上倫恵, 菅原仁, 宮原夏子, 小田瑞, 林篤正, 沢田勇吾, 森明子, 横井悠加, 松永明子, 吉田遊子, 山本綾子, 大内みふか, 重田美和, 他7名訳. 第6章. エビデン

スに基づく骨盤底の理学療法科学と臨床をつなぐ。
野村昌良, 鈴木重行監訳。原著第2版, 医歯薬出版, 2017, 125-148.

森明子. 患者講師による招聘授業の反復実施が及ぼす教育的効果について. 医療, 2017, 71 (12), 494-498.

永井宏達

Nagai K, Ikutomo H, Tagomori K, Miura N, Tsuboyama T, Masuhara K. Fear of falling restricts activities of daily living after total hip arthroplasty: a one-year longitudinal study. Clinical Gerontologist, 2017.

Ikutomo H, Nagai K, Tagomori K, Miura N, Nakagawa N, Masuhara K. Incidence and risk factors for falls in women with end stage hip osteoarthritis. Journal of Geriatric Physical Therapy, 2017.

永渕輝佳, 永井宏達, 玉木彰, 永富孝幸, 松本恵理子, 二宮晴夫. 人工股関節全置換術後早期の機能回復に関する進入法別前向き比較研究. リハビリテーション医学, 2017, 54, 56-66.

永井宏達. 高齢者理学療法学. 医歯薬出版, 2017.

永井宏達. 高齢者の機能向上テキスト. 文光堂, 2017.

Nagatomi T, Mae T, Nagafuchi T, Yamada S, Nagai K, Okita Y, Fuchioka S. Shoulder manual muscle resistance test cannot fully detect muscle weakness. Knee Surgery, Sports Traumatology, Arthroscopy, 2017, 25 (7), 2081-2088.

Ogaya S, Nagai K, Okita Y, Fuchioka S. Theoretical prediction of the role of co-contraction during balance recovery in elderly. Journal of Mechanics in Medicine and Biology, 2017, 17 (5).

Nagai K, Yamada M, Komatsu M, Tamaki A, Kanai M, Miyamoto T, Tsukagoshi R, Tsuboyama T. Near falls predict substantial falls in older adults: A prospective cohort study. Geriatrics & Gerontology International, 2017, 17, 1477-1480.

宮本俊朗

Morisawa T, Tamaki A, Nagai K, Tsukagoshi R, Nozaki S, Miyamoto T, Mori A, Kaya M, Fujioka H. Effects of increased physical activity on body composition, physical functions, vascular functions, HR-QOL, and self-efficacy in community-dwelling elderly people. J Phys Ther Sci, 2017, 29 (1), 152-157.

Miyamoto T, Fukuda K, Oshima Y, Moritani T. Non-locomotive physical activity intervention using a tri-axial accelerometer reduces sedentary time in type 2 diabetes. Phys Sportsmed, 2017, 45 (3), 245-251.

Miyamoto T, Kamada H, Moritani T. Acute Cardiovascular Responses to Multiple Sets of High Velocity Resistance Exercise in Healthy Adults. Res Sports Med, 2017, 25 (4), 495-504.

Nagai K, Yamada M, Komatsu M, Kanai M, Miyamoto T, Tsukagoshi R, Tsuboyama T. Near falls predict substantial falls in older adults: A prospective cohort study. Geriatr Gerontol Int, 2017, 56 (10), 1214-1220.

玉木彰編, 森沢知之, 宮本俊朗共編. 解いて納得! 身につける理学療法 内部障害の症例検討. 羊土社, 2017.

田村宏, 名和巖, 宮本俊朗, 紺屋浩之. レジスタンス運動が2型糖尿病患者の骨格筋力とインスリン抵抗性に与える効果の検討. 理学療法, 2017, 34 (10), 951-954.

森沢知之

石原広大, 湯口聡, 森沢知之, 間瀬教史. 右開胸低侵襲心臓手術後に再膨張性肺水腫を発症し重症化した症例の理学療法経験. 理学療法ジャーナル, 2017, 51 (1), 83-88.

Morisawa T, Tamaki A, Nagai K, Tsukagoshi R, Nozaki S, Miyamoto T, Mori A, Kaya M, Fujioka H. Effects of increased physical activity on body composition, physical functions, vascular functions, HR-QOL, and self-efficacy in community-dwelling elderly people. The journal of physical therapy science, 2017, 29

- (1), 152-157.
- Morisawa T, Takahashi T, Sasanuma N, Mabuchi S, Takeda K, Hori N, Ohashi N, Ide T, Domen K, Nishi S. Passive exercise of the lower limbs and trunk alleviates decreased intestinal motility in patients in the intensive care unit after cardiovascular surgery. The journal of physical therapy science, 2017, 29 (2), 312-316.
- 高橋哲也, 西田修, 宇都宮明美, 安藤守秀, 飯田有輝, 尾崎孝平, 小幡賢吾, 神津玲, 小松由佳, 山下康次, 有蘭信一, 岩田健太郎, 卯野木健, 尾山陽平, 金井香菜, 栗山直英, 齊藤正和, 櫻本秀明, 笹沼直樹, 嶋先晃, 高橋正浩, 田代尚範, 野々山忠芳, 花田匡利, 平澤純, 福家良太, 松木良介, 森沢知之, 山田亨, 横山仁志, 日本集中治療医学会早期リハビリテーション検討委員会. 集中治療における早期リハビリテーション 根拠に基づくエクスパートコンセンサス. 日本集中治療医学会雑誌, 2017, 24 (2), 255-303.
- Morisawa T, Ueno K, Fukuda Y, Kanazawa N, Kawaguchi H, Zaiki R, Fuzisaki H, Yoshioka H, Sasaki M, Iwata K, Koyama T, Kitai T, Furukawa Y, Takahashi T. Significance of sequential cardiac rehabilitation program through inter-hospital cooperation between acute care and rehabilitation hospitals in elderly patients after cardiac surgery in Japan. Heart and Vessels, 2017, 32 (10), 1220-1226.
- Kubori Y, Matsuki R, Hotta A, Morisawa T, Tamaki A. Comparison between stair-climbing test and six-minute walk test after lung resection using video-assisted thoracoscopic surgery lobectomy. Journal of Physical Therapy Science, 2017, 29 (5), 902-904.
- Nakajima M, Totsugawa T, Sakaguchi T, Yuguchi S, Matsuo T, Ujikawa T, Morisawa T, Takahashi T. Changes in the amount of physical activity in minimally invasive cardiac surgery. Journal of Physical Therapy Science, 2017, 29 (11), 2035-2038.
- 石原広大, 湯口聡, 垣内梨恵子, 大畑拓也, 武井智恵子, 森沢知之, 清水一紀. 冠動脈疾患急性治療後の糖代謝異常患者におけるIL-6の運動時急性応答—血糖変動・骨格筋指数との関連性についての予備検証—. 理学療法学, 2017, 44 (6), 426-432.
- 森沢知之, 玉木彰. 学習者の内発的動機づけを高める教育実践介入. 兵庫医療大学紀要, 2017, 5 (2), 39-43.
- ## 学会発表
- ### 藤岡宏幸
- 高木陽平, 藤岡宏幸. 小菱形有頭骨関節症を合併した第2、3CM関節症に対して関節固定術を行った1例. (口頭 (一般)), 第34回中部日本手外科研究会, 2017, 高知.
- 樋口史典, 藤岡宏幸, 西川哲夫, 高木陽平, 大井雄紀, 吉矢晋一. 有鉤骨鉤骨折遷延治癒症例に対する保存治療. (口頭 (一般)), 第128回中部日本整形外科災害外科学会, 2017, 神戸.
- 岩倉亮, 高木陽平, 樋口史典, 大井雄紀, 藤岡宏幸, 吉矢晋一. 橈骨遠位端骨折における掌側プレート固定術後の長母指屈筋腱断裂の2例. (口頭 (一般)), 第128回中部日本整形外科災害外科学会, 2017, 神戸.
- 澤井龍生, 高木陽平, 樋口史典, 大井雄紀, 藤岡宏幸, 吉矢晋一. 先天性第7因子欠乏症を有する変形性肩関節症に対し肩人工骨頭置換術を施行した1例. (口頭 (一般)), 第128回中部日本整形外科災害外科学会, 2017, 神戸.
- 諸岡孝俊, 中山寛, 神頭諒, 塚越累, 藤岡宏幸, 吉矢晋一. 着地動作の三次元解析とLanding Error Scoring Systemでの評価の関連. (口頭 (一般)), 第90回日本整形外科学会学術総会, 2017, 仙台.
- 松尾悠亮, 小山智士, 山下雅俊, 藤岡宏幸, 西川哲夫. 大腿骨頸部疲労骨折の5例. (口頭 (一般)), 第27回関西臨床スポーツ医・科学研究会, 2017, 大阪.
- 諸岡孝俊, 中山寛, 神頭諒, 塚越累, 藤岡宏幸, 吉矢晋一. 内側開大式高位脛骨骨切り術前後の歩行解析. (口頭 (一般)), 第9回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 2017, 札幌.
- 塚越累, 藤岡宏幸, 恵美直敦, 村田耕造, 兼森愛,

- 諸岡孝俊, 中山寛, 吉矢晋一. 変形性膝関節症患者の昇段動作における運動学的・筋電図学的特徴. (ポスター), 第9回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 2017, 札幌.
- Miyamoto T, Kou K, Hashimoto S, Yanamoto H, Ikawa M, Sekiyama T, Nakano Y, Kashiwamura S, Takeda C, Fujioka H. The acute response of plasma Brain-Derived Neurotrophic Factor to neuromuscular electrical stimulation in healthy adults. (ポスター), World Confederation for Physical Therapy-Asia Western Pacific Region & Physical Therapy Association of Thailand Congress 2017 (WCPT - AWP & PTAT Congress 2017), 2017, Bangkok (Thailand).
- Setogawa K, Kamiya K, Mizuno T, Kajihara K, Honda Y, Kodama N, Fujioka H, Okuno M, Yoshiya S, Domen K. The relationship between muscle activity and knee stiffening during walking in patients with knee osteoarthritis. (ポスター), World Confederation for Physical Therapy-Asia Western Pacific Region & Physical Therapy Association of Thailand Congress 2017 (WCPT - AWP & PTAT Congress 2017), 2017, Bangkok (Thailand).
- 久保多喜子, 藤岡宏幸, 坂口顕, 塚越累, 山田哲, 川口浩太郎. 後脛骨筋と腓骨筋群のエクササイズが踵上げ動作において踵骨動的アラインメント・足底圧中心位置・下腿筋活動に及ぼす影響. (口頭 (一般)), 第29回日本運動器科学会, 2017, 東京.
- 熊川圭一, 塚越累, 坂口顕, 藤岡宏幸, 川口浩太郎. 運動様式の違いが活動後増強に及ぼす影響—短腓骨筋を対象とした検討—. (口頭 (一般)), 第29回日本運動器科学会, 2017, 東京.
- 北風浩平, 塚越累, 坂口顕, 藤岡宏幸, 川口浩太郎. 歩行時骨盤後方回旋角度と大殿筋筋力の関係. (口頭 (一般)), 第29回日本運動器科学会, 2017, 東京.
- 樋口史典, 高木陽平, 藤岡宏幸, 大井雄紀, 吉矢晋一. 左長母指伸筋腱に発症した痛風結節により腱断裂を生じた1例. (口頭 (一般)), 第129回中部日本整形外科災害外科学会, 2017, 富山.
- 高木陽平, 大井雄紀, 土山耕南, 藤岡宏幸, 吉矢晋一. 腱板広範囲断裂に伴う肩関節後方脱臼に対しRSAを施行した一例. (口頭 (一般)), 第44回日本肩関節学会, 2017, 東京.
- 高木陽平, 藤岡宏幸, 吉矢晋一. 広範囲熱傷後に生じた異所性骨化による両肘関節拘縮の一例. (口頭 (一般)), 日本リハビリテーション医学会第1回秋季学術集会, 2017, 大阪.
- 上池浩一, 森孝久, 藤岡宏幸, 吉矢晋一, 川口浩太郎. 膝前十字靱帯再建例における片脚立ち上がりテストと跳躍系パフォーマンステストの関係. (口頭 (一般)), 第28回日本臨床スポーツ医学会, 2017, 東京.
- 井関美波, 曾永翔, 小山智士, 藤岡宏幸, 西川哲夫. 成長期腰椎分離症の治癒困難に至る要因の検討. (口頭 (一般)), 第28回日本臨床スポーツ医学会, 2017, 東京.
- 玉木彰**
- 辻田大, 玉木彰, 森沢知之, 李家富. 運動器疾患患者における身体活動量と身体機能の関連要因の検討. (口頭 (一般)), 第52回日本理学療法学会大会, 2017, 千葉.
- 大島洋平, 佐藤晋, 宮坂淳介, 吉岡佑二, 中谷未来, 島村奈那, 玉木彰, 陳豊史, 伊達洋至, 松田秀一. 肺移植後の身体活動性が遠隔期の骨格筋形態機能および運動耐容能に及ぼす影響. (口頭 (一般)), 第52回日本理学療法学会大会, 2017, 千葉.
- 阿萬大地, 小泉美緒, 森沢知之, 玉木彰. 口腔内圧の段階的な負荷が横隔膜筋厚と胸腹部運動に及ぼす影響. (口頭 (一般)), 第52回日本理学療法学会大会, 2017, 千葉.
- 小泉美緒, 奥村将之, 玉木彰. 骨格筋電気刺激の実施頻度の違いが下肢の筋力トレーニングに与える影響. (口頭 (一般)), 第52回日本理学療法学会大会, 2017, 千葉.
- 赤澤奈緒, 山根一人, 森沢知之, 玉木彰. 慢性期脳卒中片麻痺患者の歩行時筋酸素動態に筋緊張が影響する. (口頭 (一般)), 第52回日本理学療法学会大会, 2017, 千葉.
- 永井宏達, 宮本俊明, 岡前暁生, 村岸亜伊子, 玉木

- 彰, 藤岡宏幸, 和田陽介, 内山侑紀, 道免和久. フレイル高齢者に対する包括的運動支援システムの運用による介入効果. (口頭 (一般)), 第52回日本理学療法学会, 2017, 千葉.
- 金井瑞希, 永井宏達, 玉木彰, 宮本俊朗, 塚越累, 和田智弘, 和田陽介, 道免和久. ライフステージにおける運動習慣の確保はフレイル発症リスクを軽減するか?. (口頭 (一般)), 第52回日本理学療法学会, 2017, 千葉.
- Tamaki A, Oshima Y, Hasegawa S, Sato S, Chen F, Date H. The effect of pre-operative rehabilitation on physical function after 1 year in lung transplantation patients. (口頭 (一般)), 第52回日本理学療法学会, 2017, 千葉.
- Fujisawa C, Tamaki A, Ikushima H, Matsuoka H. Change in muscle cross-sectional area and its influence on functional outcome in ventilated intensive care unit patients: A prospective study. (口頭 (一般)), 第52回日本理学療法学会, 2017, 千葉.
- Kawaura G, Fujisawa C, Ikushima H, Matsuoka H, Tamaki A. Relationship between physical activity, muscle thickness and echo intensity in patients with chronic obstructive pulmonary diseases: A cross-sectional study. (口頭 (一般)), 第52回日本理学療法学会, 2017, 千葉.
- Otani H, Kaya M, Tamaki A, Watson P, Maughan RJ. Effects of variations in air velocity on endurance exercise capacity and thermoregulation in a hot environment. (口頭 (一般)), The 17th International Conference on Environmental Ergonomics, 2017.
- Arata A, Tonomura S, Iwano S, Noma T, Shimomura H, Tamaki A. Analysis of respiratory-body movement interaction in the Parabrachial nucleus of developmental stage. (口頭 (一般)), 第40回日本神経科学大会, 2017, [千葉].
- Tamaki A, Kawaura G, Fujisawa C, Ikushima H. Relationship between physical activity, muscle thickness, and echo intensity in patients with chronic obstructive pulmonary disease: a cross-sectional study. (口頭 (一般)), European Respiratory Society international congress 2017, 2017.
- 小泉美緒, 宮本俊明, 森沢知之, 玉木彰. Functional EMSが呼吸循環代謝応答に及ぼす影響. (口頭 (一般)), 第27回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会, 2017, 仙台.
- 大島洋平, 佐藤晋, 吉岡佑二, 島村那菜, 濱田涼太, 玉木彰, 陳豊史, 青山晃博, 伊達洋至, 松田秀一. 肺高血圧症患者における肺移植後の経過の特徴からリハビリ介入方法を検討する. (口頭 (一般)), 第28回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会, 2017, 仙台.
- 川浦元気, 藤沢千春, 帯刀未来, 三谷真也, 生島秀樹, 玉木彰. 外来リハビリテーション介入による下肢骨格筋機能の変化. (口頭 (一般)), 第28回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会, 2017, 仙台.
- 三谷真也, 藤沢千春, 川浦元気, 帯刀未来, 生島秀樹, 玉木彰. COPD患者の家屋内における身体活動量の制限は精神・心理的要因に関係する. (口頭 (一般)), 第28回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会, 2017, 仙台.
- 沖侑太郎, 玉木彰, 長田敏子, 山口卓也, 近藤敬介, 伊藤夏子, 酒井秀樹, 田中利明, 森川宏, 石川朗. 地域包括ケアでの呼吸ケア 兵庫県における呼吸ケア地域連携実現に向けた取り組み. (シンポジウム・ワークショップ パネル (指名)), 第28回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会, 2017, 仙台.
- 小泉美緒, 永田一真, 藤本大智, 玉木彰. エキスパート理学療法士ミーティング 階段昇降自立を目指した間質性肺炎の一症例. (シンポジウム・ワークショップ パネル (指名)), 第28回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会, 2017, 仙台.
- 小泉美緒, 宮本俊明, 森沢知之, 玉木彰. Functional EMSは呼吸・循環・代謝系にどの程度影響を与えるか?. (口頭 (一般)), 第4回日本骨格筋電気刺激研究会学術集会, 2017, 東京.
- 川口浩太郎**
- 北風浩平, 塚越累, 坂口顕, 藤岡宏幸, 川口浩太郎. 歩行時骨盤後方回旋角度と大臀筋筋力の関係. (口

頭（一般)), 第29回日本運動器科学会, 2017, 東京.

熊川圭一, 塚越果, 坂口頭, 藤岡宏幸, 川口浩太郎. 運動様式の違いが活動後増強に及ぼす影響 短腓骨筋を対象とした検討. (口頭 (一般)), 第29回日本運動器科学会, 2017.

久保多喜子, 藤岡宏幸, 坂口頭, 塚越果, 山田哲, 川口浩太郎. 後脛骨筋と腓骨筋群のエクササイズが踵上げ動作において踵骨動的アライメント・足底圧中心位置・下腿筋活動に及ぼす影響. (口頭 (一般)), 第29回日本運動器科学会, 2017.

上池浩一, 森孝久, 藤岡宏幸, 吉矢晋一, 川口浩太郎. 膝前十字靱帯再建例における片脚立ち上がりテストと跳躍系パフォーマンステストの関係. (口頭 (一般)), 第28回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2017.

坂口頭

西村恭理, 住吉山健太, 辻本鮎美, 山本英幸, 坂口頭. クラスターマルチLEDの照射時間が創傷治癒に及ぼす効果—mRNA発現量に着目して—. (ポスター), 第25回日本物理療法学会学術大会, 2017, 奈良.

森明子

垣内優芳, 森明子, 井上達朗, 田中利明. 誤嚥性肺炎後にサルコペニアによる咳嗽力低下を認めた1例. (ポスター), 第54回日本リハビリテーション医学会, 2017, 岡山.

横井悠加, 森明子, 庄本康治, Sherburn M. 腹直筋離開が体幹・骨盤底機能に及ぼす影響: システムティックレビュー. (口頭 (一般)), 第5回日本運動器理学療法学会学術集会, 2017, 札幌.

永井宏達

楠博, 玉城香代子, 辻翔太郎, 和田陽介, 永井宏達, 伊藤斉子, 佐野恭子, 芳川浩男, 新村健. サルコペニア診断におけるクレアチニン/シスタチンC比 (Cr/CysC) の有用性の検討. (口頭 (一般)), 脳心血管抗加齢研究会2017, 2017, 大阪.

楠博, 玉城香代子, 辻翔太郎, 和田陽介, 下村壯治, 永井宏達, 伊藤斉子, 佐野恭子, 芳川浩男, 新村健. フレイル、サルコペニア診断における血清シスタチンC測定の有効性. (口頭 (一般)), 第59回日本老年医学会学術集会, 2017, 名古屋.

新村健, 辻翔太郎, 岡山明洙, 玉城香代子, 楠博, 和田陽介, 下村壯治, 永井宏達, 佐野恭子, 伊藤斉子. 超音波法による皮質骨骨質評価の臨床的意義. (口頭 (一般)), 第59回日本老年医学会学術集会, 2017, 名古屋.

生友尚志, 永井宏達, 田竈慶一, 三浦なみ香, 岡村憲一, 奥埜亮人, 中川法一, 増原建作. 跛行の有無は人工股関節全置換術後患者の転倒予測因子となる. (口頭 (一般)), 第52回日本理学療法学術大会, 2017, 千葉.

永渕輝佳, 永富孝幸, 永井宏達, 濱田浩志, 二宮晴夫. 鏡視下腱板修復術後3カ月時の拳上可動域に影響する因子の検討. (ポスター), 第52回日本理学療法学術大会, 2017, 千葉.

永井宏達, 宮本俊明, 岡前暁生, 村岸亜伊子, 玉木彰, 藤岡宏幸, 和田陽介, 内山侑紀, 道免和久. フレイル高齢者に対する包括的運動支援システムの運用による介入効果—無作為化比較対照試験—. (口頭(一般)), 第52回日本理学療法学術大会, 2017, 千葉.

金井瑞希, 永井宏達, 玉木彰, 宮本俊朗, 塚越果, 和田智弘, 和田陽介, 道免和久. ライフステージにおける運動習慣の確保はフレイル発症リスクを軽減するか?. (ポスター), 第52回日本理学療法学術大会, 2017, 千葉.

塚越果, 廣瀬吉彦, 森田善之, 永井宏達, 藤岡宏幸. 転倒予防のための足趾伸展・足関節背屈補助靴下の開発—健常若年者を対象とした基礎的研究—. (ポスター), 第52回日本理学療法学術大会, 2017, 千葉.

塚越果, 廣瀬吉彦, 森田善之, 永井宏達, 藤岡宏幸. 転倒予防のための足趾伸展・足関節背屈補助靴下の開発 健常若年者を対象とした基礎的研究. (ポスター), 第52回日本理学療法学術大会, 2017, 千葉.

長谷川陽子, 堀井宣秀, 櫻本亜弓, 永井宏達, 新村健, 岸本裕充. 丹波圏域在住高齢者における歯数・咬合と転倒リスクとの関連性. (口頭(一般)), 日本補綴歯科学会第126回学術大会, 2017, 横浜. 堀井宣秀, 長谷川陽子, 櫻本亜弓, 岸本裕充, 永井宏達, 新村健. 農村部在住高齢者における歯数・咬合と転倒リスクとの関連性. (ポスター), 日本

補綴歯科学会第126回学術大会, 2017, 横浜.

宮本俊朗

金井瑞希, 永井宏達, 玉木彰, 宮本俊朗, 塚越累, 和田智弘, 和田陽介, 道免和久. ライフステージにおける運動習慣の確保はフレイル発症リスクを軽減するか? (ポスター), 第52回日本理学療法学術大会, 2017, 千葉.

永井宏達, 宮本俊朗, 岡前暁生, 村岸亜伊子, 玉木彰, 藤岡宏幸, 和田陽介, 内山侑紀, 道免和久. フレイル高齢者に対する包括的運動支援システムの運用による介入効果—無作為化比較対照試験—. (口頭(一般)), 第52回日本理学療法学術大会, 2017, 千葉.

中谷友哉, 福田真知子, 北川裕樹, 宮本俊朗. 低速度レジスタンス運動による運動時の筋内活動分布の解析—高密度表面筋電図を用いて—. (ポスター), 第52回日本理学療法学術大会, 2017, 千葉.

田村宏, 神崎暁慶, 大森直輝, 宮本俊朗, 上田一仁, 片岡政子, 松谷聡, 西岡彩, 間瀬浩史, 澤田かおる, 上山涼子, 番田由紀子, 紺屋浩之. サルコペニアを合併した2型糖尿病患者の最大筋力を決定する関連要因. (口頭(一般)), 第60回日本糖尿病学会年次学術集会, 2017, 名古屋.

Miyamoto T, Kou K, Hashimoto S, Yanamoto H, Ikawa M, Sekiyama T, Nakano Y, Kashiwamura S, Takeda C, Fujioka H. The Acute Response of Plasma Brain-Derived Neurotrophic Factor to Neuromuscular Electrical Stimulation in Healthy Adults. (ポスター), WCPT-AWP & PTAT Congress 2017, 2017, Bangkok(Thailand).

森沢知之

尾崎泰, 森沢知之, 恵飛須俊彦, 北谷直美, 多田英司, 石井克尚, 清野裕. 心不全患者における退院時BMIと心臓リハビリテーションの効果について. (口頭(一般)), 第20回日本病態栄養学会年次学術集会, 2017, 京都.

鵜澤吉宏, 神津玲, 飯田有輝, 小幡賢吾, 小松由佳, 高田順子, 高橋哲也, 森沢知之, 横山仁志, 讃井將満. ICUでの早期離床をテーマにした多職種対象実践セミナーの紹介と今後の課題. (シンポジ

ウム・ワークショップ パネル (公募)), 第44回日本集中治療医学会学術集会, 2017, 札幌.

松木良介, 児島範明, 森沢知之, 端野琢哉. ICUにおけるリハビリテーションプロトコルの導入が早期離床とADLに及ぼす影響. (口頭(一般)), 第44回日本集中治療医学会学術集会, 2017, 札幌. 児島範明, 堀田旭, 大浦啓輔, 尾崎泰, 森沢知之, 端野琢哉. ICU入室患者における退院時MMSEとICU滞在中のICDSC下位項目との関係. (口頭(一般)), 第44回日本集中治療医学会学術集会, 2017, 札幌.

加藤倫卓, 堀健太郎, 河村知範, 岩田健太郎, 櫻田弘治, 岡村大介, 田原将之, 湯口聡, 上坂建太, 森沢知之, 高橋哲也. 術後心房細動が心臓弁膜症患者の歩行自立の遅延に与える影響. (口頭(一般)), 第81回日本循環器学会学術集会, 2017, 金沢.

尾崎泰, 森沢知之, 大浦啓輔, 松木良介, 堀田旭, 恵飛須俊彦, 多田英司, 石井克尚. クリニカルシナリオ分類による入院期心不全患者の心臓リハビリテーションへの影響. (ポスター), 第81回日本循環器学会学術集会, 2017, 金沢.

講師講演

藤岡宏幸

藤岡宏幸. スポーツによる上肢の疲労骨折に対するリハビリテーションと手術治療. 講師, 日本リハビリテーション医学会近畿地方会第60回生涯教育研修会, 2017.

玉木彰

玉木彰. 心臓リハビリテーションにおける骨格筋電気刺激の応用. 特別講演・記念講演, 日本心臓リハビリテーション学会第1回四国支部地方会, 2017, 徳島.

玉木彰. 呼吸理学療法における基本的評価. 講師, 日本理学療法士協会認定理学療法士(呼吸)必須研修会, 2017, 松山.

玉木彰. ベッドサイドでできる呼吸リハビリテーションとは. 講師, 第8回北大阪呼吸リハビリテーション講習会, 2017, 伊丹.

玉木彰. 呼吸フィジカルアセスメントに必要な知識と技術. 講師, 第16回山口県臨床工学技士呼吸器

- セミナー, 2017, 山口.
- 玉木彰. 急性期呼吸リハビリテーションの意義と効果. 講師, 桂呼吸リハビリテーション講習会, 2017, 京都.
- 玉木彰. 呼吸器障害への対応. 講師, 平成29年度「認定訪問療法士」第14回認定技術研修会, 2017, 大阪.
- 玉木彰. 訪問看護に役立つ呼吸リハビリテーション. 講師, 平成29年度和歌山県訪問看護ステーション連絡協議会研修会①, 2017, 田辺.
- 玉木彰. 呼吸リハビリテーションのためのフィジカル・アセスメントのポイントと基本的治療手技. 講師, 大阪府理学療法士会堺ブロック研修会, 2017, 堺.
- 玉木彰. フィジカルアセスメントにつながる血液ガス. 講師, 第24回呼吸ケアセミナー, 日本呼吸ケアネットワーク, 2017, 東京.
- 玉木彰. 呼吸理学療法のための基本的評価. 講師, 日本理学療法士協会認定理学療法士(呼吸)必須研修会, 2017, 神戸.
- 玉木彰. 急性期呼吸リハビリテーションのパラダイムシフト. 講師, 第5回RCリハビリテーションセミナー, 2017, 津山.
- 玉木彰. 呼吸理学療法のための基本的評価. 講師, 日本理学療法士協会認定理学療法士(呼吸)必須研修会, 2017, 盛岡.
- 玉木彰. 早期離床のためのフィジカル・アセスメント. 講師, (一社)岡山県臨床工学技士会主催第17回呼吸療法セミナー, 2017, 岡山.
- 玉木彰. 長期人工呼吸患者のリハビリテーション. 講師, おおさか呼吸管理セミナー, 2017, 大阪.
- 玉木彰. 動脈血液ガス分析値の解釈. 講師, 日本理学療法士協会理学療法士講習会(応用編)呼吸理学療法の理論と実際, 2017, 神戸.
- 玉木彰. 呼吸理学療法のためのフィジカル・アセスメント. 講師, 日本理学療法士協会理学療法士講習会(応用編)呼吸理学療法の理論と実際, 2017, 神戸.
- 玉木彰. 健康目指してウォーキング! チームで目指そう歩KING歩QUEEN!. 講師, 神戸市健康づくり研修会, 神戸市保健福祉部, 2017, 神戸.
- 玉木彰. 呼吸リハビリテーションの基礎と臨床. 講師, ホロニクスグループ研修会, 2017, 摂津.
- 玉木彰. 呼吸リハビリテーションとアロマセラピーの融合. 特別講演・記念講演, ホリスティックケアプロフェッショナルスクール卒業記念講演, 2017, 神戸.
- 玉木彰. 訪問看護に役立つ呼吸リハビリテーション. 講師, 平成29年度和歌山県訪問看護ステーション連絡協議会研修会②, 2017, 和歌山.
- 玉木彰. フィジカルアセスメントにつながる血液ガス. 講師, 第25回呼吸ケアセミナー, 日本呼吸ケアネットワーク, 2017, 福岡.
- 玉木彰. 身体評価に基づいた呼吸理学療法の進歩. 特別講演・記念講演, 第52回全国学術研修大会, 石川県理学療法士会, 2017, 金沢.
- 玉木彰. B-SES 使用法の手引き(呼吸・循環領域). 講師, B-SES研修会, 日本骨格筋電気刺激研究会, 2017, 東京.
- 玉木彰. 呼吸障害とリハビリテーション. 講師, 全国訪問看護事業協会平成29年度呼吸理学療法研修会, 全国訪問看護事業協会, 2017, 東京.
- 玉木彰. 骨格筋電気刺激を用いた早期リハビリテーション. 講師, 第12回呼吸リハビリテーションサイエンスフォーラム, 2017, 神戸.
- 玉木彰. 呼吸リハビリテーション総論. 講師, 平成29年度呼吸ケア・リハビリテーションスタッフ養成研修, 環境再生保全機構, 2017, 福岡.
- 玉木彰. 最新の呼吸理学療法—呼吸リハビリテーションと身体活動—. 講師, 第13回呼吸理学療法講座, 岩手県理学療法士会, 2017, 盛岡.
- 玉木彰. 呼吸不全の病態生理フィジカル・アセスメントに基づいた呼吸リハビリテーション. 講師, 大阪府理学療法士会泉州ブロック研修会, 2017, 貝塚.

日高正巳

- 日高正巳. 認知スキルを伝える. 特別講演・記念講演, 第21回クリニカル・クラークシップ研修会 in 熊本, 日本リハビリテーション臨床教育研究会, 2017, 熊本.
- 日高正巳. 臨床実習を変えていくために必要なこと, 研究会の立場から. パネリスト, 第22回クリニカル・クラークシップ研究会, 日本リハビリテーション臨床教育研究会, 2017, 東京.

日高正巳. 理学療法士教育における人体解剖学実習実施要件を考える. パネリスト, 第122回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2017.

日高正巳. クリニカル・クラークシップ論. 講師, 長崎大学課題解決型高度医療人材養成プログラム臨床指導者養成教育コース, 長崎大学医学部保健学科保健学実践教育研究センター, 2017, 長崎.

日高正巳. 臨床スキルの定着をみる 2) 認知スキルについて. パネリスト, 第23回クリニカル・クラークシップ研修会in大分, 一般社団法人日本リハビリテーション臨床教育研究会, 2017, 大分.

日高正巳. 褥瘡の予防と治療における理学療法の役割. 講師, 山口県理学療法士会研修部主催定期理学療法研修会, 2017, 宇部.

日高正巳. 教育現場から オスキー、クリニカルクラークシップについて. 講師, 九州ブロック臨床実習指導者研修会, 日本理学療法士協会九州ブロック, 2017, 那覇.

日高正巳. 経験値を育む臨床実習を目指して. 講師, 第1回臨床実習活性化教育講演プログラム, 大分大学福祉健康科学部, 2017.

日高正巳. 臨床実習の現状と課題. 講師, 北海道科学大学理学療法学科FD研修会, 2017, 札幌.

森明子

森明子. ウィメンズヘルス領域の理学療法「排尿障害の理解」骨盤底障害への運動指導—グループ・個別アプローチ—. 講師, 理学療法士講習会基礎編, 兵庫県理学療法士会, 2017, 神戸.

森明子. 骨盤底筋トレーニング習慣化プログラムの開発に向けた取り組み. 講師, 第8回学校法人兵庫医科大学リハビリテーション関連施設合同セミナー, 2017, 神戸.

永井宏達

永井宏達. 地域における介護予防サポーター養成講座. 講師, 兵庫医療大学社会学連携推進機構, 2017, 神戸.

永井宏達. フレイル・サルコペニアの予防とリハビリテーション. 講師, 第52回兵庫医大フロンティア医療セミナー, 2017, 西宮.

永井宏達. 神戸市中央区健康づくり続け隊 介護予防サポーター養成講座. 講師, 2017, 神戸.

永井宏達. 健康寿命を延ばすために認知症の予防か

ら始めましょう. 講師, 神戸市中央区認知症予防講演会, 2017, 神戸.

永井宏達. 臨床の疑問を研究で解決する—高齢者の転倒とフレイル予防を中心に—. パネリスト, 第28回京都府理学療法士学会, 2017, 京都.

宮本俊朗

宮本俊朗. 介護予防の実践. 講師, 兵庫県理学療法士会, 2017, 神戸.

宮本俊朗. 運動だけでは不十分! 日頃の生活から見直すべき行動とは?. 特別講演・記念講演, 世界糖尿病デーin兵庫講演会, 兵庫県世界糖尿病デー実行委員会, 2017, 神戸.

森沢知之

森沢知之, 西信一. 早期リハビリテーションと腸管運動. 特別講演・記念講演, 第44回日本集中治療医学会学術集会, 日本集中治療医学会, 2017, [北海道].

受賞学術賞

森明子

横井悠加, 森明子, 庄本康治, Sherburn M. 第5回日本運動器理学療法学会学術集会 優秀賞, 2017.

森沢知之

加藤倫卓, 堀健太郎, 河村知範, 岩田健太郎, 櫻田弘治, 岡村大介, 田原将之, 湯口聡, 上坂建太, 森沢知之, 高橋哲也. 日本循環器学会コメディカル優秀賞, 2017.

児島範明, 松木良介, 小森隆一, 大浦啓輔, 宮崎泰広, 森沢知之, 恵飛須俊彦, 端野琢哉. 日本集中治療医学会第一回関西西部学術集会 最優秀演題賞, 2017.

作業療法学科

著書・論文

山田大豪

奥谷研, 山田大豪, 水野(松本)由子. 作業療法プログラムでの教授方法の違いが精神機能や自律神経機能に与える影響. 日本感性工学会論文誌, 2017, 16 (3), 333-339.

松井徳造

松井徳造, 松永寿人. 身体醜形障害の臨床特徴と

診断 統合失調症との相違とは. 精神科治療学, 2017, 32 (3), 323-328.

松永寿人, 松井徳造, 橋本彩. DSM-5における身体醜形障害 その診断や臨床像を中心に. 精神科治療学, 2017, 32 (8), 1033-1039.

伊藤斉子

伊藤斉子. 「花俱樂部2016」シニアライフの新たな魅力をみつけ、さらに健康に…。平成28年度地域連携事業報告書—兵庫医療大学 地域交流プロジェクト ポーアイ4大学による連携事業—, 2017, 17-19.

有吉正則

有吉正則. 介護予防・生きがいづくりを応援する「ポーアイ65歳大学について」—再受講者の動向—. 兵庫医療大学 社会学推進機構 地域連携事業報告書, 2017, 22-23.

平上尚吾

平上尚吾, 塚越果, 藤岡宏幸, 川口浩太郎, 曾田幸一朗, 打田明, 三島淳一, 萩野智之, 道免和久. 第7回学校法人兵庫医科大学リハビリテーション関連施設合同セミナー実践報告. 兵庫医療大学紀要, 2017, 5 (1), 31-34.

井上優, 平上二九三, 原田和宏, 平上尚吾, 松葉潤治. 回復期リハビリテーション病棟入棟脳卒中患者における日常生活動作能力の改善効率予測ルールの検討. 吉備国際大学保健福祉研究所研究紀要, 2017, 18, 49-53.

平上二九三, 平上尚吾, 井上優. 脳卒中回復前期のADL低改善患者の特性と介入ポイント. 吉備国際大学保健福祉研究所研究紀要, 2017, 18, 35-43.

奥谷研

奥谷研, 山田大豪, 水野(松本)由子. 作業療法プログラムでの教授方法の違いが精神機能や自律神経機能に与える影響. 日本感性工学会論文誌, 2017, 16 (3), 333-339.

学会発表

山崎せつ子

Yukawa K, Kushibe I, Hiragami S, Sano K, Yamasaki S. The current state of occupational therapy in acute stroke hospital settings:

Focusing on difficulties to provide occupational therapy services. (ポスター), The 1st Asia-Pacific Occupational Therapy Symposium, 2017, Taoyuan(ROC).

Sakaguchi Y, Yamasaki S. Effective strategies of supervision in clinical fieldwork in acute physical hospital settings. (ポスター), The 1st Asia-Pacific Occupational Therapy Symposium, 2017, Taoyuan(ROC).

Umeji A, Hiragami S, Amano S, Kodama N, Domen K, Yamasaki S. Intervention of rehabilitation for leukemia patients after hematopoietic stem cell transplantation in Japan: a literature review. (ポスター), The 1st Asia-Pacific Occupational Therapy Symposium, 2017, Taoyuan(ROC).

Yamasaki S. Duration of effect of acute exercise on cognitive performance. (口頭 (一般)), The 1st Asia-Pacific Occupational Therapy Symposium, 2017, Taoyuan(ROC).

松井徳造

根本康, 澤温, 稲垣中, 池田英二, 榎戸美佐子, 岸本年史, 熊倉陽介, 鈴木映二, 関健, 羽藤邦利, 松井徳造, 水野雅文. 精神科医療の将来に関するアンケート. (ポスター), 第113回日本精神神経学会, 2017, 名古屋.

伊藤斉子

新村健, 楠博, 玉城香代子, 辻翔太郎, 和田陽介, 岡山明洙, 下村壯治, 永井宏達, 伊藤斉子, 佐野恭子. 超音波法による皮質骨質評価の臨床的意義: 自立高齢者を対象としたFESTA研究における検討 (第1報). (口頭 (一般)), 第59回日本老年医学会学術集会, 2017, 名古屋.

佐野恭子

新村健, 楠博, 玉城香代子, 辻翔太郎, 和田陽介, 岡山明洙, 下村壯治, 永井宏達, 伊藤斉子, 佐野恭子. 超音波法による皮質骨質評価の臨床的意義: 自立高齢者を対象としたFESTA研究における検討. (不明), 日本老年医学会学術集会, 2017.

佐野恭子. 高次脳機能障がい者との関わり方について家族はどんな情報を求めているか—ある母親の

語りに基づく考察. (ポスター), 日本家族心理学会第34回大会, 2017, 宇都宮.

佐野恭子. 脳外傷者, 家族, 健常成人における表情認知の違い. (口頭 (一般)), 第51回日本作業療法学会, 2017, 東京.

坂本浩

廣大地, 坂本浩, 松本斎人, 水谷哲也, 三田麻紀, 齋藤洋一. 「SSTの効果を高める工夫」—SST振り返りファイルの活用について—. (口頭(一般)), 第28回三重県作業療法学会, 2017, 津.

坂本浩, 村本好孝, 木村尚美, 的場文子, 瀧本優子, 吉田みゆき, 河岸光子, 安西信雄. 社会生活技能訓練への動機づけを高める工夫に関する文献的考察. (口頭 (一般)), SST普及協会第22回学術集会in 希望郷いわて, 2017, 盛岡.

坂本浩, 村本好孝, 木村尚美, 的場文子, 瀧本優子, 吉田みゆき, 河岸光子, 安西信雄. SSTの発展を通じた統合失調症リハビリ支援、被災当事者支援(研究領域2). (シンポジウム・ワークショップ パネル (指名)), SST普及協会第22回学術集会in 希望郷いわて, 2017, 盛岡.

廣大地, 坂本浩, 松本斎人, 水谷哲也, 三田麻紀, 齋藤洋一. Social Skills Training (SST) における振り返りファイルの使用経験. (口頭 (一般)), 第8回三重精神科医療フォーラム, 2017, 四日市.

清水大輔

種村留美, 長尾徹, 野田和恵, 宮原智子, 清水大輔. 記憶補助アプリ「あらた」の手順提示により, 入浴動作及び着衣動作が改善した高次脳機能障害2事例. (口頭 (一般)), 第51回日本作業療法学会, 2017, 東京.

石田順子, 中田修, 澤田泰洋, 清水大輔, 種村留美. 記憶障害者におけるICTツールの効果に関する調査. (口頭(一般)), 第51回日本作業療法学会, 2017, 東京.

清水大輔, 宮原智子, 種村留美. 地域在住の記憶障害者へのイメージ法を用いた記憶再生課題の検討. (ポスター), 第51回日本作業療法学会, 2017, 東京.

宮原智子, 種村留美, 清水大輔. 高次脳機能障害者を対象とした地域活動支援センターにおける具体

的作業活動を目指した支援の効果の検討. (ポスター), 第51回日本作業療法学会, 2017, 東京.

平上尚吾

平上尚吾, 永幡哲也. 脳卒中片麻痺患者のトイレでのズボン上げ動作の回復過程 重心動揺計を用いた検討. (ポスター), 日本脳卒中学会学術集会, 2017, 大阪.

Inoue Y, Hiragami S, Matsuba J, Harada K, Hiragami F. A Clinical prediction rule for stroke rehabilitation efficiency. (ポスター), WCPT-AWP & PTAT CONGRESS, 2017, [Thailand].

椿原美香, 小池康弘, 平上尚吾, 林司央子. 回復期脳卒中患者の麻痺側上肢へのニューロリハビリテーションの有効性. (ポスター), 第51回日本作業療法学会, 2017, 東京.

尾上紗弓, 平上尚吾, 林司央子. 回復期リハビリテーション病棟における脳卒中患者を対象とした作業療法の目標設定についての検討—余暇活動の介入に向けて—. (ポスター), 第51回日本作業療法学会, 2017, 東京.

Umeji A, Hiragami S, Yamasaki S, Amano S, Kodama N, Domen K. Intervention of rehabilitation for leukemia patients after hematopoietic stem cell transplantation in Japan: a literature review. (ポスター), The 1st Asia-Pacific Occupational Therapy Symposium, 2017, [Taiwan].

Yukawa K, Kushibe I, Hiragami S, Sano K, Yamasaki S. The current state of occupational therapy in acute stroke hospital settings - Focusing on difficulties to provide occupational therapy services -. (ポスター), The 1st Asia-Pacific Occupational Therapy Symposium, 2017, [Taiwan].

奥谷研

奥谷研, 山田大豪, 水野(松本)由子. 自律神経機能と精神機能評価を用いた作業療法プログラムの有用性に関する研究. (口頭 (一般)), 第12回感性工学会春季大会, 2017, 大阪.

Okutani K, Yamada T, Mizuno-Matsumoto Y. Effects of an occupational therapy intervention

on autonomic nervous system functioning and self-efficacy feelings. (ポスター), The 1st Asia-Pacific Occupational Therapy Symposium, 2017, [Taiwan].

講師講演

山崎せつ子

山崎せつ子. 作業療法士が地域で活躍するための研究法—質的研究—. 講師, 山形県立保健医療大学, 2017, 山形.

山崎せつ子. 作業療法士が地域で活躍するための研究法. 講師, 山形県立保健医療大学, 2017, 山形.

山崎せつ子. 日本と世界の作業療法の動向. 講師, 兵庫県作業療法士会現職者共通研修, 2017, 神戸.

山崎せつ子. 兵庫医療大学リハビリテーション学部、学校法人兵庫医科大学リハビリテーション関連施設の紹介. 講師, 第1回リハビリテーション医学・中医薬国際学術交流会, 北京中医薬大学, 2017, 北京(中華人民共和国).

山崎せつ子. 学校法人兵庫医科大学におけるリハビリテーション. 講師, 第1回リハビリテーション医学・中医薬国際学術交流会, 北京中医薬大学, 2017, 北京(中華人民共和国).

松井徳造

松井徳造. 介護予防のために知っておきたい認知症とうつの知識. 講師, 介護予防推進リーダー養成プロジェクト, 兵庫医療大学地域交流プロジェクト, 2017, 神戸.

松井徳造. がん患者の気持ちのつらさとせん妄. 講師, 兵庫医科大学緩和ケア研修会, 2017, 西宮.

伊藤斉子

伊藤斉子. ポアイ4大学による連携事業「花倶楽部2017」. 講師, 兵庫医療大学, 2017, 神戸.

伊藤斉子. 作業療法学概論Ⅱにおけるアクティブラーニングの取り組み. 講師, 平成29年度兵庫医療大学全学FD・SDワークショップ, 2017, 神戸.

伊藤斉子. リハビリテーションと作業療法について. 講師, 特色ある教育課程推進事業, 兵庫県立北須磨高等学校, 2017, 神戸.

佐野恭子

佐野恭子. 知っておきたい介護のはなし—身近な人とのつながりを再発見—. 講師, 平成29年度西宮市生涯学習大学「宮水学園」せいかつ講座, 西宮市生涯学習推進課, 2017, 西宮.

佐野恭子. 高次脳機能障害の特徴と対応について—生活の中のリハビリテーションとは—. 講師, 平成29年度高次脳機能障害啓発講演会, (社福)西宮市社会福祉協議会, 2017, 西宮.

有吉正則

有吉正則. 大阪市発達障がい者支援センター研修会(自閉症スペクトラム障がい講座2). 講師, 大阪市発達障がい者支援センター研修会, 2017.

有吉正則. 平成28年度 大阪市鶴見区役所 子育て支援講座. 講師, 2017.

有吉正則. 大阪市立男女共同参画センター主催 子育て支援セミナー. 講師, 大阪市立男女共同参画センター主催子育て支援セミナー, 2017.

有吉正則. 守口市特別支援研修会. 講師, 守口市特別支援研修会, 2017.

有吉正則. 大阪市教育・保育施設等職員研修. 講師, 大阪市教育・保育施設等職員研修, 2017.

有吉正則. 大阪市発達障がい者支援センター研修会(ちょっと気になる子どもたちのからだ講座1). 講師, 大阪市発達障がい者支援センター研修会, 2017.

有吉正則. こやの里特別支援学校 公開研修講座. 講師, こやの里特別支援学校公開研修講座, 兵庫県教育員会, 2017.

有吉正則. 大阪市教育・保育施設等職員研修. 講師, 大阪市教育・保育施設等職員研修, 2017.

有吉正則. 大阪市発達障がい者支援センター研修会(ちょっと気になる子どもたちのからだ講座2). 講師, 大阪市発達障がい者支援センター研修会, 2017.

有吉正則. 社会福祉法人・黎明福祉会イカイノ保育園 園内保育研修会. 講師, 社会福祉法人・黎明福祉会イカイノ保育園園内保育研修会, 2017.

有吉正則. 伊丹市特別支援学校 H29年度特別支援教育実践講座. 講師, 伊丹市特別支援学校公開研修講座, 伊丹市教育員会, 2017.

有吉正則. 川西市立川西養護学校 H29年度校内研

修会．講師，川西市立川西養護学校H29年度校内
研修会，川西市教育委員会，2017.

有吉正則．茨木市児童発達支援事業所すくすく教室
研修．講師，茨木市児童発達支援事業所すくすく
教室研修，2017.

有吉正則．大阪市発達障がい者支援センター研修
会（ちょっと気になる子どもたちのからだ講座1）.
講師，大阪市発達障がい者支援センター研修会，
2017.

有吉正則．大阪市発達障がい者支援センター研修
会（ちょっと気になる子どもたちのからだ講座2）.
講師，大阪市発達障がい者支援センター研修会，
2017.

坂本浩

坂本浩．リハビリテーションと理学療法士、作業療
法士．講師，高校内模擬講義，帝塚山学院高等学
校，2017，[大阪].

坂本浩．理学療法士と作業療法士．講師，高校内模
擬講義，明石城西高等学校，2017，[兵庫].

坂本浩．理学療法士と作業療法士．講師，高校内模
擬講義，明石清水高等学校，2017.

清水大輔

清水大輔．高次脳機能障がいのリハビリテーショ
ン．講師，Wakaba家族会 地域活動支援センター
Wakaba，2017.

清水大輔．地域活動支援センターの取り組みと地域
福祉施設の支援者の方々の声．講師，2017.

奥谷研

奥谷研．ストレスに対する対処方法についてースト
レスとの上手なつきあい方、しのぎ方ー．講師，
ポーアイ4大学による連携事業「花倶楽部」，2017，
神戸.

受賞学術賞

山崎せつ子

山崎せつ子．レクチャー・オブ・ザ・イヤー2016，
兵庫医療大学，2017.

著書・論文

伊東久男

末廣謙, 伊東久男, 紀平知樹, 常見幸, 西田喜平次.
第1章: 人体の構造と機能. 医療を学ぶあなたへ.
二瓶社, 2017.

紀平知樹

紀平知樹. 医療を学ぶあなたへ. 二瓶社, 2017,
93-113.
紀平知樹. 生活の場としての環境と弱い持続可能性
の限界. 龍谷哲学論集, 2017, 31, 45-63.

秦正哲

秦正哲. -ing形節: 「分詞構文」に代わる新しい文
法用語. 言語文化学会論集, 2017, 48, 271-300.

賀屋光晴

鶴木秀夫, 平川和文, 谷所慶, 矢野琢也, 賀屋光
晴, 長野崇, 村田和隆, 高田義弘. 兵庫県スポー
ツタレント発掘・育成事業の選考方法について—
相対的年齢効果の視点から—. 陸上競技研究紀要,
2017, 13, 37-42.

Otani H, Kaya M, Tamaki A, Watson P.

Separate and combined effects of exposure to
heat stress and mental fatigue on endurance
exercise capacity in the heat. *European Journal
of Applied Physiology*, 2017, 117 (1), 119-
129.

Yamamoto H, Takemura M, Kaya M, Tsujita J.
Physical Demands of Elite Rugby Union Match-
play Using Global Positioning System. *Football
Science*, 2017, 14, 15-23.

谷所慶, 鶴木秀夫, 矢野琢也, 賀屋光晴, 長野崇,
平川和文. 児童の疾走能力と敏捷性能力に関する
縦断的研究: スポーツタレント発掘事業における
ジュニア選手を対象として. *体育学研究*, 2017,
62 (2), 455-464.

芝崎誠司

Moriya N, Shibasaki S, Karasaki M, Iwasaki
T. The Impact of MicroRNA-223-3p on IL-17
Receptor D Expression in Synovial Cells. *PLOS
ONE*, 2017, 12 (1), e0169702.

芝崎誠司. 対数増殖期. *日本防菌防黴学会誌*, 2017,
45 (5), 293.

Shibasaki S, Ueda M. Preparation of an Oral
Vaccine by Proteome Analysis and Molecular
Display Technology. *Methods Mol Biol*, 2017,
1625, 237-245.

上山崎悦代

上山崎悦代ほか著. 相談援助の理論と方法. 社会福
祉士の教科書 専門科目編. 杉本浩章監修. TAC
出版, 2017, 91-169.

上山崎悦代ほか著. 相談援助の理論と方法. 社会福
祉士の問題集. 田中和彦監修. TAC出版, 2017,
324-378.

常見幸

末廣謙, 伊東久男, 紀平知樹, 常見幸, 西田喜平次.
医療を学ぶあなたへ. 二瓶社, 2017, 79-91, 115-
129.

紀平知樹, 常見幸. 多職種連携教育の中の初年次教
育. *兵庫医療大学紀要*, 2017, 5 (2), 45-53.

土江伸誉

土江伸誉. マウスのモリス型水迷路学習課題におけ
る実験装置の条件設定の重要性. *行動科学*, 2017,
55 (2), 1-11.

Ikubo K, Yamanishi K, Doe N, Hashimoto T,
Sumida M, Watanabe Y, El-Darawish Y, Li
W, Okamura H, Yamanishi H, Matsunaga
H. Molecular analysis of the mouse brain
exposed to chronic mild stress: the influence
of hepatocyte nuclear factor 4 alpha on
physiological homeostasis. *Molecular Medicine
Reports*, 2017, 16 (1), 301-309.

西田喜平次

Nishida K. Bayesian Variance-Stabilizing
Kernel Density Estimation Using Conjugate
Prior. *Journal of Mathematical Sciences*, 2017,
forthcoming.

Klemelä J 著, 竹澤邦夫, 西田喜平次, 小林凌雅訳.
多変量ノンパラメトリック回帰と視覚化—Rの利
用とファイナンスへの応用. 共立出版, 2017.

末廣謙編著, 伊東久男, 紀平知樹, 常見幸, 西田喜
平次. 医療を学ぶあなたへ. 二瓶社, 2017.

Nishida K. Skewing Methods for Variance-

Stabilizing Local Linear Regression Estimation.
arXiv, Statistics Theory (mathST), 2017,
arXiv:1704.04356.

福田範子

Fukuda N. The Effect of DVD Teaching Material
for Clinical Nursing English Conversation. 2017
Conference Proceedings of Hawaii International
Conference on Education, 2017, 194.

Fukuda N. English Education for Pharmacy
Students in the Japanese University:
Focusing on the First Year First Semester.
Proceedings of the 33rd International Academic
Conference, Vienna, 2017, 54.

学会発表

紀平知樹

常見幸, 紀平知樹, 永田悟士, 鈴木綾華. 反転授業
の効果と対面授業の設計について—学生アンケ
ートから見えるもの—. (ポスター), 第23回大学
教育研究フォーラム, 2017, 京都.

紀平知樹. 「Informed ConsentからShared Decision
Makingへ」は正しい移行か?—医学教育のため
の概念整理. (ポスター), 第49回日本医学教育学
会大会, 2017, 札幌.

常見幸, 紀平知樹. TBLによる多職種連携コンピ
テンシー獲得の効果: 低学年次におけるIPE. (ポ
スター), 第49回日本医学教育学会大会, 2017,
札幌.

紀平知樹. 問題としての変則事例: 環境アイコンの
生成と価値の調整. (シンポジウム・ワークショッ
プ パネル (指名)), 2017年度大会, 2017, 神戸.

秦正哲

秦正哲. -ing形節: 「分詞構文」に代わる新しい文
法用語. (口頭 (一般)), 関西英語教育学会第22
回研究大会, 2017, 東大阪.

賀屋光晴

伊藤健司, 賀屋光晴, 武村政徳, 辻田純三. 地域
健康増進団体へ継続参加者の体力推移評価. (口
頭 (一般)), 第31回日本体力医学会近畿地方会,
2017, 和歌山.

武村政徳, 伊藤健司, 賀屋光晴, 辻田純三. 地域健
康増進団体参加者の10年間の体力推移. (口頭 (一

般)), 第31回日本体力医学会近畿地方会, 2017,
和歌山.

渋谷智也, 武村政徳, 上野博司, 尾哲也, 賀屋光晴,
山下陽一郎, 辻田純三. 経皮的筋膜吸引による筋
膜リリースで筋膜の滑走性が改善する. (口頭 (一
般)), 第31回日本体力医学会近畿地方会, 2017,
和歌山.

Kurita K, Takemura M, Kaya M, Tsujita J,
Katoh Y. Influence of the Degree of Blood Flow
Restriction on Muscular Activity During Bench
Press Exercise. (ポスター), ACSM's 64th
Annual Meeting, 8th World Congress on
Exercise is Medicine® and World Congress on
the Basic Science of Exercise and the Brain,
2017, Denver(USA).

Tsujita J, Takemura M, Yamashita Y, Shibutani
T, Kaya M, Banerjee A. Analysis of B-mode
Ultrasound Changes in Vastus Lateralis
Muscle Following the Transcutaneous Vacuum
Treatment. (ポスター), ACSM's 64th Annual
Meeting, 8th World Congress on Exercise
is Medicine® and World Congress on the
Basic Science of Exercise and the Brain, 2017,
Denver(USA).

Takemura M, Kurita K, Komatsu S, Banerjee
A, Yamamoto H, Kaya M, Tsujita J. Is
Breakthrough Power an Effective Assessment
of Team Performance of University Rugby
Football?. (ポスター), ACSM's 64th Annual
Meeting, 8th World Congress on Exercise
is Medicine® and World Congress on the
Basic Science of Exercise and the Brain, 2017,
Denver(USA).

賀屋光晴, 矢野琢也, 長野崇, 村田和隆, 鵜木秀夫,
平川和文. ジュニアアスリートの体力と成長 (月
齢) との関係. (ポスター), 第72回日本体力医学
会大会, 2017, 松山.

渋谷智也, 賀屋光晴, 武村政徳, 山下陽一郎, 辻田
純三, 中尾哲也, 上野博司, 狩野祐司, 川口純子.
経皮的吸引により筋繊維の滑走性が生じる. (口
頭 (一般)), 第72回日本体力医学会大会, 2017,
松山.

矢野琢也, 賀屋光晴, 長野崇, 村田和隆, 鶴木秀夫, 平川和文. 月齢からみたTIDプログラムに参加している10-12歳のジュニアアスリートの体力・運動能力の発達. (口頭 (一般)), 第72回日本体力医学会大会, 2017, 松山.

芝崎誠司

Shibasaki S, Ueda M. A developmental strategy of oral vaccines against candidiasis using molecular display technology and time course proteomics. (ポスター), 27th European Congress of Clinical Microbiology and Infectious Diseases (ECCMID 2017), 2017, Vienna (Austria).

芝崎誠司, 唐崎美樹, 青木航, 植田充美. *Pichia pastoris*発現系による*Candida albicans*プロテアーゼ (Sap) の産生と酵素活性. (ポスター), 日本防菌防黴学会第44回年次大会, 2017, 大阪.

上山崎悦代

上山崎悦代, 宇佐美千鶴, 篠田道子. 看取り事例を用いた多職種参加型「振り返りカンファレンス」の成果—半年後の変化に着目して—. (ポスター), 日本ケアマネジメント学会第16回研究大会, 2017.

杉本浩章, 上山崎悦代, 篠田道子, 原沢優子, 松田実樹, 近藤克則. 終末期ケアにおける多職種協働を促進する研修プログラム—成果と課題. (ポスター), 日本保健医療福祉連携教育学会第10回学術集会, 2017, 成田.

常見幸

常見幸, 永田悟士, 鈴木綾華, 紀平知樹. 反転授業の効果と対面授業の設計について—学生アンケートから見えるもの—. (ポスター), 第23回大学教育研究フォーラム, 2017, 京都.

常見幸, 紀平知樹. TBL による多職種連携コンピテンシー獲得の効果: 低学年次におけるIPE. (ポスター), 第49回日本医学教育学会大会, 2017, 札幌.

土江伸誉

山西恭輔, 松永寿人, 土江伸誉, 橋本卓也, 井窪薫, 澄田美保, 大谷(桑原)佐知, 前田誠司, 李文, 渡辺優子, 宇和典子, 早川徹, 山西博道, 岡村春樹. IL18の欠損状態がうつ病など精神症状発現に

及ぼす影響について—IL18欠損マウスを用いた多角的検討—. (口頭 (一般)), 第113回日本精神神経学会学術総会, 2017.

Yamanishi K, Doe N, Mukai K, Ikubo K, Hashimoto T, Uwa N, Sumida M, Kuwahara-Otani S, Maeda S, Watanabe Y, Li W, Hayakawa T, Okamura H, Yamanishi H, Matsunaga H. Interleukin-18-deficient mice develop dysfunction of hippocampus resulting in depression-like behavior. (ポスター), WPA XVII World Congress of Psychiatry, 2017, Berlin (Germany).

山西恭輔, 松永寿人, 土江伸誉, 橋本卓也, 井窪薫, 澄田美保, 大谷(桑原)佐知, 前田誠司, 李文, 渡辺優子, 宇和典子, 早川徹, 山西博道, 岡村春樹. IL18の欠損状態がうつ病など精神症状発現に及ぼす影響について—IL18欠損マウスを用いた多角的検討—. (口頭 (一般)), 医療心理懇話会第2回集会, 2017.

西田喜平次

Nishida K. A Comparison between the two Variance-Stabilizing Kernel Regression Estimators. (口頭(招待・特別)), 日本オペレーションズ・リサーチ学会「数理的発想とその実践」研究部会第10回研究集会, 2017, 氷見.

Nishida K. Skewing Methods for Variance-Stabilizing Kernel Regression Estimator. (口頭 (一般)), 研究集会「第18回ノンパラメトリック統計解析とベイズ統計」, 2017, 東京.

Nishida K. A Bayesian Variance-Stabilizing Kernel Density Estimator Using a Conjugate Prior. (ポスター), XXXIV International Seminar on Stability Problems for Stochastic Models 2017, 2017, Debrecen (Hungary).

Nishida K. Bayesian Variance-Stabilizing Bandwidth Selection for Kernel Density Estimator Using a Conjugate Prior. (口頭(一般)), 2017年度統計関連学会連合大会, 2017, 名古屋.

福田範子

Fukuda N. The Effect of DVD Teaching Material for Clinical Nursing English Conversation. (ポスター), 2017 Hawaii International Conference

on Education, 2017, Honolulu (U.S.A).
Fukuda N. English Education for Pharmacy
Students in the Japanese University: Focusing
on the First Year First Semester. (ポスター),
The 33rd International Academic Conference,
Vienna, 2017, Vienna (Austria).

山本英幸

山本英幸. 微弱電流刺激とサプリメントの併用によ
る肥満予防. (ポスター), セルフメディケーショ
ン推進協議会学術フォーラム2016, 2017, 神戸.
山本英幸. クラスターマルチLEDの照射時間が創
傷治癒に及ぼす効果—mRNA発現量に着目して
—.(ポスター), 第25回日本物理療法学会, 2017,
奈良.

講師講演

伊東久男

伊東久男. 両大学の違い. 講師, 2017年度学校法人
兵庫医科大学幹部教員FD, 2017, 神戸.

紀平知樹

紀平知樹. 終末期と意思決定: 患者にとっての最善
とは. 講師, 臓器提供に関する委員会講演会, 兵
庫県立こども病院, 2017, 神戸.

芝崎誠司

Shibasaki S. Past, Present and Futures of
Microorganisms in Medical Biotechnology. 講師,
The TUAS International Week, トウルク応用
科学大学, 2017, Turku(Finland).

芝崎誠司. 食でのびる寿命、縮む寿命—ライフサイ
エンスから食品を考える—. 講師, 兵庫県阪神シ
ニアカレッジ, 公益財団法人 兵庫県生きがい創
造協会, 2017, 西宮.

芝崎誠司. 世界の環境問題. 講師, 兵庫県阪神シ
ニアカレッジ, 公益財団法人 兵庫県生きがい創造
協会, 2017, 西宮.

芝崎誠司. 話題の健康食品とどう付き合いますか?.
講師, 神戸婦人大学, 神戸市市民参画推進局,
2017, 神戸.

馬場明道学長

著書・論文

Seiriki K, Baba A, Hashimoto H, 他27名. High-Speed and Scalable Whole Brain Imaging in Rodents and Primates. *Neuron*, 2017, 94, 1085-1100.

馬場明道, 橋本均, 新谷紀人. 創薬への薬理学的アプローチ. スタンダード薬学シリーズⅡ8 薬学研究. 日本薬学会編. 東京化学同人, 2017, 73-76.

平成28年

補 遺

薬学部

著書・論文

天野学

田中里佳, 村上雅裕, 中村豪志, 田中邦佳, 室親明, 川船庸子, 天野学, 木村健. 緩和薬物療法における病薬連携に関するアンケート調査. 日本地域薬局薬学会誌, 2016, 4 (1), 9-15.

豊山美琴, 村上雅裕, 庄司雅基, 宇廻祐輔, 安田恵, 田中邦佳, 鈴木寛, 室親明, 柳井美奈, 木村健, 天野学. DPP-4阻害薬およびSGLT2阻害薬の簡易懸濁法可否の検討. 日本病院薬剤師会雑誌, 2016, 52 (11), 1361-1366.

村上雅裕, 中谷真由美, 安田恵, 天野学. スイッチOTC点眼薬の使用性に関する製品間の比較検討. 医薬品情報学, 2016, 18 (3), 209-213.

Murakami M, Katsuragi S, Ohno M, Shigematsu M, Kishi A, Zamami Y, Komada F, Kurata N, Amano M. Drug-administering persons' exposure to oral anticancer drugs to be administered through a tube. Asian J Pharm Clin Res, 2016.

齋藤あつ子

Mafie E, Rupa FH, Setsuda A, Saito-Ito A, Sato H. Brief review on atypical human trypanosomiasis of *Trypanosoma lewisi*. Japanese Journal of Veterinary Parasitology, 2016, 15 (1), 24-33.

Saito-Ito A, Kawai A, Ohmori S, Nagano-Fujii M. Continuous in vivo culture and indirect fluorescent antibody test for zoonotic protozoa of *Babesia microti*. Parasitol Int, 2016, 65 (5), 526-531.

Ohmori S, Nagano-Fujii M, Saito-Ito A. Development of absolute quantification method for genotype-specific *Babesia microti* using real-time PCR and practical experimental tips of real-time PCR. Parasitol Int, 2016, 65 (5), 567-571.

戴毅

川口浩太郎, 猪俣陽一, 藤岡宏幸, 坂口顕, 山本悟史, 小暮洋子, 王勝蘭, 戴毅. 物理療法は神経障

害性疼痛発症を予防できるか?—ラット神経障害性疼痛モデルに寒冷療法を用いて—. 兵庫医療大学紀要 = Journal of Hyogo University of Health Sciences, 2016, 4 (1), 9-14.

桂木聡子

村上雅裕, 池本憲彦, 戸屋成未, 朴美姫, 奥山美結樹, 畠山和子, 桂木聡子, 大野雅子, 比知屋寛之, 座間味義人, 室親明, 木村健, 倉田なおみ, 天野学. 経口抗がん薬における簡易懸濁法の適応可否に関する検討. 社会薬学, 2016, 35 (1), 34-37.

甲谷繁

Yoshioka E, Kohtani S, Jichu T, Fukazawa T, Nagai T, Kawashima A, Takemoto Y, Miyabe H. Aqueous-Medium Carbon-Carbon Bond-Forming Radical Reactions Catalyzed by Excited Rhodamine B as a Metal-Free Organic Dyes under Visible Light Irradiation. J Org Chem, 2016, 81 (16), 7217-7229.

上田寛樹

Tsujii T, Ogaki T, Nakae K, Imai K, Kise D, Tada S, Ueda H, Moriyama M. Correlation between blood magnesium and calcium concentration in patients treated with an anti-EGFR antibody. Journal of pharmaceutical health care and sciences, 2016, 2, 23.

岩岡恵実子

Iwaoka E, Wang S, Matsuyoshi N, Kogure Y, Aoki S, Yamamoto S, Noguchi K, Dai Y. Evodiamine suppresses capsaicin-induced thermal hyperalgesia through activation and subsequent desensitization of the transient receptor potential V1 channels. J Nat Med, 2016, 70 (1), 1-7.

Iwaoka E. *In Vitro* Inhibition of Cholera Toxin Production in *Vibrio cholerae* by Methanol Extract of Sweet Fennel Seeds and Its Components. Japanese Journal of Infectious Diseases, 2016, 69 (5), 384-389.

川島祥

Yoshioka E, Kohtani S, Jichu T, Fukazawa T, Nagai T, Kawashima A, Takemoto Y, Miyabe H. Aqueous-Medium Carbon-Carbon

Bond-Forming Radical Reactions Catalyzed by Excited Rhodamine B as a Metal-Free Organic Dye under Visible Light Irradiation. 2016, 81 (16), 7217-7229.

田中康一

Kogure Y, Wang S, Tanaka K, Hao Y, Yamamoto S, Nishiyama N, Noguchi K, Dai Y. Elevated H₂O₂ levels in TNBS-induced colitis rats contributes to visceral hyperalgesia through interaction with the TRPA1 cation channel. J Gastroenterol Hepatol, 2016, 31, 1147-1153.

学会発表

齋藤あつ子

齋藤あつ子, 河合敦子, 大森志保, 長野基子, 蔡季君, 陳彦旭, 余明隆, 陳榮霖. ヒトバベシア症発生国台湾(高尾県)のヒトバベシア症疫学調査結果統報. (口頭(一般)), 第85回日本寄生虫学会大会, 2016, 宮崎.

大森志保, 長野基子, 齋藤あつ子. 兵庫県捕獲マダニについてのバベシア属原虫感染調査. (口頭(一般)), 第85回日本寄生虫学会大会, 2016, 宮崎.

田中稔之

板垣駿輔, 大野喜也, 田中稔之. ヒトT細胞株 Jurkatの細胞遊走に関する研究. (ポスター), 第66回日本薬学会近畿支部総会・大会, 2016, 高槻.

甲谷繁

甲谷繁, 西岡早希, 森みつ穂, 川島祥, 吉岡英斗, 宮部豪人. 色素増感型酸化チタン光触媒による芳香族ケトンの可視光還元反応. (ポスター), 第42回反応と合成進歩シンポジウム, 2016, 清水.

上田寛樹

尾崎友基, 佐々木崇人, 松本徳人, 上田寛樹, 藤野秀樹. ExcelVBAを用いた薬物相互作用シミュレーターの構築. (ポスター), 第66回日本薬学会近畿支部総会・大会, 2016, 大阪.

大野喜也

板垣駿輔, 大野喜也, 田中稔之. Jurkatを用いたT細胞遊走に関する研究. (ポスター), 第66回日本薬学会近畿支部総会・大会, 2016.

川島祥

甲谷繁, 岡本浩孝, 上本恵三, 川島祥, 吉岡英斗, 宮部豪人. 酸化チタン上での2-フルオロアセトフェノンの光脱フッ素化反応: 新たなラジカル付加反応への展開. (ポスター), 2016年光化学討論会, 2016, 東京.

川島祥, 岡澤志紀, 山崎彩加, 宮部豪人, 甲谷繁. 疎水化TiO₂-SiO₂ナノハイブリッドの作製と光触媒特性. (ポスター), 2016年光化学討論会, 2016, 東京.

講師講演

清水忠

清水忠. 薬のカタチを楽しもう. 講師, 化学構造式勉強会, 2016, 姫路.

看護学部

基盤看護学

学会発表

岸あゆみ

紙野雪香，高橋清子，森岡正芳，松月みどり．「ナラティブって？看護実践における応用1人ひとりの看護実践の物語」．（シンポジウム・ワークショップ パネル（指名）），静岡県看護協会ナラティブ公開シンポジウム，2016，静岡．

療養支援看護学

学会発表

松本麻里

今戸美奈子，竹川幸恵，森本美智子，河田照絵，池田由紀，松本麻里，小崎綾子，本城綾子，毛利貴子．慢性呼吸器疾患患者が行う息切れに対するマネジメント法の実態．（口頭（一般）），第26回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会，2016，横浜．

毛利貴子，森本美智子，森本美智子，長谷佳子，本城綾子，竹川幸恵，今戸美奈子，伊藤史，河田照絵，池田由紀，松本麻里，上原喜美子．在宅酸素療法・非侵襲的陽圧換気療法を行う慢性呼吸器疾患患者の息切れマネジメント法の実態．（ポスター），第36回日本看護科学学会学術集会，2016，東京．

森本美智子，毛利貴子，森本美智子，伊藤史，河田照絵，池田由紀，松本麻里，上原喜美子，長谷佳子，本城綾子，竹川幸恵，今戸美奈子．慢性呼吸器疾患患者の在宅サービス利用の実態．（ポスター），第36回日本看護科学学会学術集会，2016，東京．

生活支援看護学

著書・論文

土井有羽子

足立安正，土井有羽子．本学における保健師教育内容の評価—本学を卒業した新任期保健師のインタビュー調査から—．兵庫医療大学紀要，2016，3（2），83-86．

鈴木千枝

堀口和子，岩田昇，鈴木千枝．どんな家族介護者が介護保険サービスを十分と思わないのか？．兵庫医療大学紀要，2016，4（2），27-34．

講師講演

魚崎須美

魚崎須美．ナイチンゲールの「看護覚え書」—具体的な看護—．講師，兵庫医療大学地域交流プロジェクト，2016，神戸．

魚崎須美．看護の原点．講師，兵庫医療大学地域交流プロジェクト，2016，神戸．

リハビリテーション学部

理学療法学科

著書・論文

玉木彰

玉木彰. ガス交換の運動生理学. 玉木彰監修. メジカルビュー社, 2016, 42-53.

玉木彰, 解良武士. 呼吸障害と運動. 玉木彰監修. メジカルビュー社, 2016, 264-281.

川口浩太郎

川口浩太郎, 猪俣陽一, 藤岡宏幸, 坂口顕, 山本悟史, 小暮洋子, 王勝蘭, 戴毅. 物理療法は神経障害性疼痛発症を予防できるか?—ラット神経障害性疼痛モデルに寒冷療法を用いて—. 兵庫医療大学紀要, 2016, 4 (1), 9-14.

塚越累, 藤岡宏幸, 川口浩太郎, 森沢知之, 坂本浩, 森下慎一郎, 曾田幸一郎, 荻野智之, 道免和久. 第6回学校法人兵庫医科大学リハビリテーション関連施設合同セミナー実践報告. 兵庫医療大学紀要, 2016, 4 (1), 25-28.

川口浩太郎, 坂口顕. 【スポーツ整形外科 最新の治療】器械・器具を用いた治療物理療法. 整形・災害外科, 2016, 59 (6), 633-641.

北風浩平, 塚越累, 坂口顕, 藤岡宏幸, 川口浩太郎. 大臀筋エクササイズが歩行時骨盤後方回旋に与える影響. 運動器リハビリテーション, 2016, 27 (1), 79-86.

上池浩一, 森孝久, 藤岡宏幸, 吉矢晋一, 川口浩太郎. 片脚立ち上がりテストにおける膝屈曲筋力の重要性について. 日本臨床スポーツ医学会誌, 2016, 24 (3), 415-420.

川口浩太郎, 坂口顕. ストレッチングのQ&A. 臨床思考が身につく 運動療法Q&A, 医学書院, 2016, 81-103.

北風浩平, 荻野智之, 和田智弘, 坂口顕, 川口浩太郎, 内山侑紀, 道免和久. 人工橈骨頭置換術後の理学療法経験. 理学療法兵庫, 2016, 22, 37-40.

学会発表

川口浩太郎

諸岡孝俊, 中山寛, 柏薫里, 神原俊一郎, 井石智也,

塚越累, 坂口顕, 川口浩太郎, 藤岡宏幸, 名倉武雄, 吉矢晋一. ACL損傷予防トレーニングが着地動作時の三次元解析とLanding

ErrorScoringSystemでの評価に与える影響. (口頭 (一般)), 第89回日本整形外科学会学術集会, 2016.

長谷川大祐, 坂口顕, 山本英幸, 塚越累, 川口浩太郎, 藤岡宏幸. 二相性微弱電流刺激における創傷治癒促進効果と増殖因子の関係性. (口頭 (一般)), 第24回日本物理療学会学術大会, 2016.

上池浩一, 森孝久, 藤岡宏幸, 吉矢晋一, 川口浩太郎. 膝前十字靱帯再建術施行例における片脚立ち上がり能力と膝関節周囲筋の筋力の関連について. (口頭 (一般)), 第27回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2016.

森明子

椿本裕一郎, 森明子, 永井宏達, 日高正巳, 宮本俊朗, 沖山努, 河合優, 菊池聡子, 西脇寿弥, 平野達朗, 佐々木耀, 仁木恵理. 脳卒中片麻痺患者のDual-task下の歩行開始と転倒恐怖感の関連. (ポスター), 第14回日本神経理学療学会学術集会, 2016, 仙台.

作業療法学科

著書・論文

有吉正則

有吉正則. 介護予防・生きがいづくりを応援する「ボーアイ65歳大学について」—地域支援の視点から—. 兵庫医療大学 社会学推進機構 地域連携事業報告書, 2016, 18-19.

講師講演

伊藤斉子

伊藤斉子. ボーアイ4大学による連携事業「花俱樂部2016」. 講師, 兵庫医療大学, 2016, 神戸.

有吉正則

有吉正則. 川西市立川西養護学校H28年度校内研修会. 講師, 川西市立川西養護学校, 2016.

有吉正則. こやの里特別支援学校公開研修講座. 講師, 兵庫県教育委員会, 2016.

有吉正則. 大阪市発達障がい者支援センター研修会

(自閉症スペクトラム障がい講座2). 講師, 大阪市発達障がい者支援センター研修会, 2016.

有吉正則. ひょうご子どもと家庭福祉財団職員研修会. 講師, ひょうご子どもと家庭福祉財団職員研修会, 2016.

有吉正則. 大阪市発達障がい者支援センター研修会(自閉症スペクトラム障がい講座1). 講師, 大阪市発達障がい者支援センター研修会, 2016.

学会発表

賀屋光晴

伊藤健司, 賀屋光晴, 武村政徳, 辻田純三. 運動習慣者増加のための施策検討. (ポスター), 第71回日本体力医学会大会, 2016, 盛岡.

鵜木秀夫, 谷所慶, 矢野琢也, 賀屋光晴, 長野崇, 平川和文. スポーツタレント発掘・育成事業の選考方法に関する研究. (口頭 (一般)), 第71回日本体力医学会大会, 2016, 盛岡.

賀屋光晴, 矢野琢也, 長野崇, 鵜木秀夫, 平川和文. ジュニアのタレント発掘・育成プログラムと反応時間に関する研究 (3). (ポスター), 第71回日本体力医学会大会, 2016, 盛岡.

曲木美枝, 矢野琢也, 賀屋光晴, 鵜木秀夫. ジュニアアスリートを対象としたジャンプ能力を中心とした運動能力の変化と遺伝子多型との関連. (ポスター), 第71回日本体力医学会大会, 2016, 盛岡.

渋谷智也, 賀屋光晴, 武村政徳, 山下陽一郎, 辻田純三. 吸引を用いた筋膜リリース療法における効果の検討—肩関節可動域変化—. (ポスター), 第71回日本体力医学会大会, 2016, 盛岡.

辻田純三, 渋谷智也, 武村政徳, 中尾哲也, 山下陽一郎, 辻田大, 賀屋光晴. 経皮的筋膜吸引により筋膜, 中間腱の滑走が生じるか?. (ポスター), 第71回日本体力医学会大会, 2016, 盛岡.

矢野琢也, 曲木美枝, 賀屋光晴, 鵜木秀夫. 児童期後半における運動能力の変化に関する研究—タレント発掘育成を目的とした視点から—. (ポスター), 第71回日本体力医学会大会, 2016, 盛岡.

山本英幸

山本英幸. 二相性微弱電流刺激における創傷治癒促進効果と増殖因子の関係性. (口頭 (一般)), 第24回日本物理療法学会, 2016, 仙台.

講師講演

賀屋光晴

賀屋光晴. 課外活動の現状と課題について. 講師, 2016年度職員SD研修会, 兵庫医療大学学生支援